

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學

文学部

Faculty of Letters

令和7(2025)年度 入試ガイドブック



日本文学科

Department of Japanese Literature

中国文学科

Department of Chinese Literature

外国語文化学科

Department of Foreign Languages
and Culture Studies

史学科

Department of History

哲学科

Department of Philosophy

文学部

organization chart

日本文学科

外国語
文化学科

哲学科

史学科

中国文学科

教職課程





文学部の学士課程教育 3 ポリシー ——— P 2

文学部長 挨拶 ——— P 3

文学部FAQ ——— P 4

学科紹介

- 日本文学科 ——— P 6
- 中国文学科 ——— P12
- 外国語文化学科 ——— P18
- 史学科 ——— P24
- 哲学科 ——— P30

5 学科座談会 ——— P36

教職課程 ——— P42

様々な分野で活躍する卒業生 ——— P45

各種資格 ——— P46

大学院 ——— P48

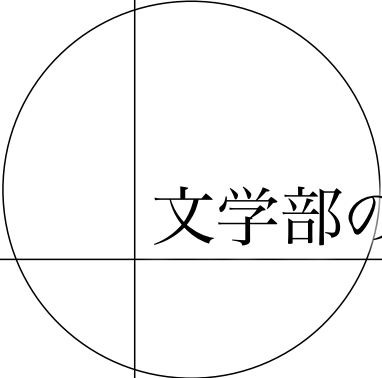
就職・進学の実績 ——— P50

留学・国際交流 ——— P52

奨学金制度 ——— P54

ボランティア・学内ワークスタディ — P55

文学部WEB情報一覧 ——— P56



文学部の学士課程教育3ポリシー

○ 卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）

文学部は、日本ならびに諸外国の文化を深く理解し、日本文化を世界に発信するための知識と技能を身につけた学生に対して、卒業を認定するとともに、学士課程の学位を授与します。

文学部の5つの学科（日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科）は、文学部全体の方針を具体化した卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を定めています。

○ 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

文学部は、卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）で示した能力と態度を身につけるために、全学的な共通教育プログラムの学修を前提として、5つの学科（日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科）が専門教育科目を編成し、それらの系統的な履修によって教育目標を達成します。

○ 入学者受入れ方針（アドミッション・ポリシー）

文学部は、日本や外国の言語・文化・思想・歴史に対して強い興味をもち、5つの学科（日本文学科・中国文学科・外国語文化学科・史学科・哲学科）が扱うそれぞれの学問領域に関して、主体的な姿勢で学修に取り組むことのできる学生を受け入れます。



文学部の学びは、

國學院大學は、日本で最も古い私立大学8校のうちの1つです。明治維新以来、多くの大学が「西洋の進んだ政治や文化」の教育普及や研究を目指して設立されたのに対し、國學院大學は「国史・国文・国法」すなわち日本の政治・文化の伝統を探究し、諸外国との関係性について考究する大学としてスタートしました。日本文学科、中国文学科、外国語文化学科、史学科、哲学科という5つの学科からなる文学部は、長きに渡り、國學院大學の学問研究の中核を担ってきました。



近年、理系や実学系の学問が重視される一方で、「文学部不要論」なる言説をまま見かけます。新型コロナウイルスという世界的な脅威を経験したことで、文学部を目指すことに少なからぬ無力感を感じることもあるでしょう。我々はワクチンを作り出すことはできず、医療の現場で闘うこともできない。

しかし私は、文学部の学問は人間社会に不可欠だと思っています。それは、文学部の各学科は、以下のような「問い」を探究していると考えるからです。

「なぜ、人間は生きるのか」「どのように、人間は生きるべきなのか」

そうした人間の存在に対する根本的な問いについて考える。それが、文学部の使命です。その答えは簡単に求められるものではありませんが、「考える方法」を学ぶのが大学であり、それを身につけることができれば、深い問いについて一生考え続けることができるのです。

文学部による研究成果はさまざまな形で社会に還元され、人々の生活を精神的に豊かにしています。幼い頃に聞いたおとぎ話や昔話、通学の行き帰りなどに読んださまざまな本。他人との会話や文字によるコミュニケーション、映画や音楽、絵画などから得た感動。それらが私たちの生活に不可欠だとするならば、文学部はやはり必要ではないでしょう。

國學院大學文学部では、最先端の研究を行っている数多くの教員と、たくさんの授業があなた方を待っています。国語・社会・英語などの教員免許や博物館学芸員資格、図書館司書資格などの資格課程も充実しており、大学院進学之道も開かれています。入学してから、すぐに将来のことを考えた学びをスタートさせることができるのです。

同時に、学会や研究会、部活動やサークルなどにも、積極的に参加すると良いでしょう。学問は大学生の本分ですが、4年間という貴重な時間をさらに実りあるものにするため、さまざまなことに挑戦する「向上心」と「覚悟」を持ってもらいたいと思います。

文学部長 矢部 健太郎

一生役立つ。

Q 1

古事記に関心があります。古事記やその時代について学びたいと思うのですが、どのようなことを学べますか？

■日本文学科の回答

『古事記』は日本文学の原点と言える作品です。『古事記』に記された神話・物語の中には多くの神や人が登場し、その生と死、恋と戦いなどが表現豊かに描かれています。そこには神や人の美しさ、はかなさ、ずるさ、醜さ、愚かさを見て取ることが出来ます。他の分野では、『古事記』は古代の歴史や民俗、信仰を知るための史料として読まれることがありますが、日本文学科では、『古事記』という文学作品そのものが研究対象となります。そこに描かれた悲喜劇を読解し、その後の文学に与えた影響を、表記史、表現史の中に位置付けながら考えていきます。そして、まだ十分に解明されていない『古事記』の世界観についての検討を行っています。

P 9

■史学科の回答

史学科の専門科目には『古事記』そのものをテーマにした授業はありません。古事記は現存する日本最古の歴史書と言われますが、上巻・中巻の内容は神話的伝承です。国の始まりや天皇家の由来などたいへん重要な内容が書かれていますが、登場人物の実在性を含めて史実と考えることはできません。ですから、古事記それ自体を根拠史料として歴史の研究はできないわけです。しかし、下巻に記述された5世紀から6世紀頃の倭は古墳時代にあたり、古代国家が形成されていくプロセスを考古学的に研究することは可能です。『考古学各論』V～Ⅷなどの授業で、古墳時代の倭の政治や文化を考古遺物や遺跡から実証的に学ぶことができます。

P 28

Q 2

ギリシア神話に関心があります。ギリシア神話について学びたいと思うのですが、どのようなことを学べますか？

■史学科の回答

ギリシア神話は古事記のようなまとまった原典はありません。ホメロスの『イリアス』『オデュッセイア』をはじめとしたさまざまな作品に言及されているさまざまな物語の集合体がギリシア神話であり、世に言うギリシア神話は著者が自らの解釈でまとめたものに過ぎません。したがって、史学科においてギリシア神話、あるいは神話を直接の対象として勉強することはできないでしょう。しかしギリシア宗教を勉強する一環として神話を題材にすることは可能と思われます。その場合は、神話がポリスの政治や社会あるいは生活にどのように取り入れられ、働きかけたのかといった観点から神話を扱うことになるでしょう。

P 28

■哲学科の回答

ギリシア神話について、哲学科では多様な視点から幅広く学ぶことができます。まず哲学・倫理学コースでは、例えば神話の死生観、神話から哲学への展開、プラトン対話篇に神話が描かれたのは何故かなど、古代ギリシア哲学研究の一環としての様々なアプローチが可能です。また神話学を、ユング心理学やリクール解釈学など、現代哲学の観点から研究するのも面白いかもしれません。さらに、美学・芸術学コースでは、ギリシア神話を描いた西洋絵画を読み解き、その図像学的伝統を辿ることで画家の表現の深層に迫ることができ、大変興味深いです。どちらのコースに所属しても、テーマは横断的ですし、両コースの関連授業を受講することをお勧めします。

P 34

Q 3

中国語や中国の文化に関心があります。中国語や中国の文化について学びたいと思うのですが、どのようなことを学べますか？

■中国文学科の回答

中国文学科では、中国語の学習とあわせて、中国古典を漢文訓読によって読み、古代から現代に至る中国の学術の総合的な理解を目指します。

中国語については、学科の専門「演習」科目として、基礎からじっくりと学び、実力を錬成します。また、大学の制度として、3種類の中国語圏での留学制度がありますが、中国文学科では留学参加を強く勧めています。特に「セメスター留学」（約5・6か月間の現地学修）については、中国文学科独自に、カリキュラムの中に位置づけており（2年次参加が標準。中国語教養プログラム選択者は必修、他プログラム選択者は任意）、毎年多数の参加者があります。多くの先輩が積極的に学んで実力をつけ、卒業しています。

P 15

■外国語文化学科の回答

外国語文化学科で中国語を学ぶ利点は「中国語と英語を同時に学べる」という点です。2言語をマスターすれば就職にも圧倒的に有利です。毎年、多くの卒業生が外国語力を生かして就職しています。

1～2年次には、ネイティブと留学経験のある日本人教員のもとで、会話を主体にした実践的な中国語を基礎から学びます。3年次には、現地のテレビ・映画・新聞の中国語にチャレンジするほか、視野を広げて中国の社会・文化・歴史・伝統についても学びます。文法や単語の習得にも力を入れ、中国語検定2級程度の中国語力を目指します。希望すれば中国・台湾への短期留学・セメスター留学、さらには1年間の長期留学を目指す学生も少なくありません。

P 22

Q 4

表象文化に興味があります。どのようなアプローチの方法がありますか？

■ 哲学科の回答

P 34

哲学科には「美学・芸術学コース」があり、芸術分野を理論的にとらえる芸術学、作品や作者などを歴史的な観点から検証する美術史など、幅広く学ぶことができます。絵画や工芸のほか、映像や音楽、コミックスなど様々な表象文化に興味を持つ学生が集まり、発表やディスカッションを介して見つけた自身の研究テーマに、積極的に取り組んでいます。基礎的な演習から専門的な特殊講義まで、授業のラインナップも豊かです。1、2年時には西洋美術史、日本美術史ほか芸術の諸分野を広く学んだ後、自身のテーマを深め、その成果を卒業論文にまとめます。なお、大学院文学研究科史学専攻に美学・美術史コースが置かれていいますので、より深く研究を！と思う方に興味を持って頂けたら幸いです。

■ 外国語文化学科の回答

P 22

外国語文化学科では、英語と第二外国語（独・仏・中のいずれか）を学習すると共に、その国や地域の文化も学びます。文化とは、文学や芸術はもちろん、歴史、政治、経済、教育、料理、サブカルチャーなど様々な領域を含みます。四年間を通じて学び続ける確かな外国語能力を活かし、興味のある分野について自由に探究することが可能です。卒業論文では、多くの学生が、映画や音楽、BD（フランスの漫画）など、言語情報とその隣接領域にまたがるテーマを選びます。日本文化との比較研究が多いのも特徴です。外国文化に関わるものであれば、どのようなテーマを選んでも教員が手厚くサポートしますが、学生にも自ら積極的に研究方法を見つける姿勢が求められます。

Q 5

教職について教えてください。どのような学習や体験ができるのでしょうか？

■ 日本文学科の回答

P 11

日本文学科での学修は全て教職に活かれます。中学校・高等学校の教員免許を取得することができ、三専攻・四領域のいずれも国語科授業の内容になります。例えば、日本文学専攻では、和歌や『源氏物語』・『平家物語』・『おくのほそ道』、『羅生門』『こころ』などについて詳しく語れるようになりますし、日本語学専攻では、古典文法に精通したり、日本語の豊かさを改めて実感したり、日本語を母語としない生徒への指導を研究したりできます。また、伝承文学専攻では、「総合的な学習の時間」などにも活かせる、民俗学・口承文芸の研究などができます。さらに、書道・図書館学・国語教育学・日本語教育学の領域があり、多くの卒業生が学校現場で活躍しています。

■ 中国文学科の回答

P 17

中国文学科では、所定の単位を修得した後に、中学校・高等学校の（国語科）教員免許を取得できます。1年次前期から始まる「中国古典読法Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の授業を通して漢文訓読能力を育成し、「論語演習」・「唐宋詩文演習」などの演習科目を通して作品理解を深めます。さらに副専攻プログラム「古典教育研究」を活用して高校の古典（古文・漢文）分野の教材をより詳しく学べます。4つのプログラムの中で「文学研究プログラム」は教職や大学院進学を目指す学生に対応しており、その専門性を高めるため大学院に進学し、修了後、教員になる人もいます。これらの利点を活かして古典、特に漢文に強い国語教員になることが望めます。

Q 6

まだ先の話ですが、大学院への進学に興味があります。どのような学びの場なのでしょう？

■ 日本文学科の回答

P 48

大学院は学部で学び、自分で発見した課題研究を深める場です。「何が学べるか」という受身の姿勢ではなく、奥深い研究に向かって分析力を高め、自分なりの仮説や理論を追求していきます。大学院ではいくつかの講義から幅広い知識を身につけ、さまざまな研究法を学び、「演習」という科目で自分の研究発表を行って批判をうけます。大学院生同士の議論も研究の進展につながります。

文学専攻では日本文学、日本語学、中国文学、伝承文学と高度国語教育、日本語教育というコースと分野があり、自分の課題に従ってどこかのコースに所属し、研究を深め、明日の文学研究を担う研究者や修得した知識や方法で社会貢献できる人材となることを目指します。

■ 史学科の回答

P 48

大学院は学部での学修を終えたあと、研究者や専門職（博物館や美術館の学芸員など）、教員専修免許状の取得などをめざす人たちが、自己の目標を実現するためさらに学びを深めるところです。史学専攻には日本史学、外国史学、考古学、美学・美術史、博物館学の各コースが置かれ、学部では哲学科に属する美学・美術史が本専攻に移動し、また全国でも珍しい博物館学が独立したコースであることも、本学大学院の特長のひとつです。國學院大學史学科・大学院史学専攻では伝統的に、史資料にもとづいて歴史を探究する“実証史学”を標榜しています。かかる“学統”に沿って、前期課程では通常2年間で修士論文を提出し、後期課程では3年以上をかけて博士号（学位）の取得をめざします。

日本文学科



明治15（1882）年に創立された皇典講究所の伝統を踏まえ、古代から現在に至る日本の文学・言語・風俗習慣・儀礼などの研究を通して、日本文化を総合的・体系的に捉えつつ、今を生きる私たちの創造の指針となることを目指します。2年次には「日本文学」「日本語学」「伝承文学」のいずれかの専攻に分かれます。

〔源氏物語〕絵合（國學院大學図書館所蔵）
〔伊勢物語絵巻〕（國學院大學図書館所蔵）



日本文学科4年
玉田 桜子さん

日本文学科
三井 はるみ教授

日本文学科4年
飯岡 紗梨さん

対談

現象の背後にあるものを 深く考えて、言語化できる場

(学年は取材時のもの)

三井 日本文学科には、日本文学専攻と日本語学専攻、伝承文学専攻があります。特徴としては、高度な読み書き能力と言語を客観的に分析する力を重視するということが挙げられます。書道を専門的に学ぶことができるほか、図書館学や教職の分野を含め大変充実した陣容で、幅広く深く学ぶことのできる学科です。

私は日本語学の中の方言の研究をしています。例えば「春になれば、桜が咲く」の「～ば」のような表現が、全国の方言でどのような使われ方をしているかを調査しています。同時に、首都圏の方言も研究対象にしています。最近では、昔話の中に方言がどのように使われているかといったことに着目し、伝統的な方言の姿を探る研究もしています。

飯岡 私は日本語が好きで、日本語について学びたいと思っていたこと、博物館のある大学で学芸員の資格を取りたいと思っていたことから、國學院大學の日本文学科を選びました。この大学では「全学オープン科目」という枠で、他の学部の授業も受けられるということを知り、自分の興味のあることだけでなく広く学べるということにも魅力的に感じて入学しました。

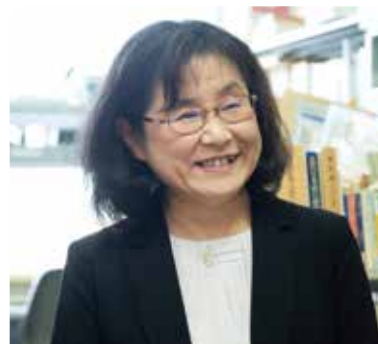
玉田 私は北海道の出身なのですが、高校時代は特に何かやりたいというものがありませんでした。國學院大學を選んだのは、高校のオープンキャンパスツアーで訪れた渋谷キャンパスの雰囲気が気に入ったためです。卒論のテーマは「北海道方言に関する研究」ですが、三井先生の授業を1年生の時に受けて、方言について興味を持ったからです。

三井 私は学生に対して、日本語の面白さを専門的に感じてもらいたいと思っています。自分の身の回りの言葉で興味を持ったことに対し「どう調べて、どう分析するか」、「自分の持った疑問をどういうふうに問いの形にして、答えを導き出していくか」ということを体験してほしいと思っています。

飯岡 私の卒論テーマは、「食品紹介に用いられる表現に関する研究」ですが、ビスケット類のメーカーが製品を紹介する文章を見て、「何か特徴があるのではないかな？」と思ったことが研究のきっかけとなりました。大学での学びから、身の回りの言葉に目を向けてみようという意識が生まれたことによるものだと感じています。やりたいことがある人もそうでない人も、学ぶ楽しさが見つけられるのが國學院大學だと思います。

玉田 卒論を通して、北海道方言についてもっと勉強したいと思い、國學院大學の大学院に進学することにしました。私のように、最初は何を学びたいかわからないといった人でも、この大学で1年学べば自分の学びたい分野が見えてくると思います。

●日本文学科を漢字一文字で表すと…



考

ことばについて、日本文化について、とことん観察し、データと対峙し、文章を読み込み、議論を深め、現象の背後にあるものについて深く考えてそれを言語化していくことのできる場であるから。



入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

求める人材、期待される入学者像

- 日本の文学・言語・文化を研究したいという意欲を持ち、古典語を含む日本語と日本文化の基礎的な学力を備えている者。
- 自ら問題を発見し、資料を収集・整理・分析して自分の考えをまとめ、文章で表現できる能力と姿勢を身につける意欲を持つ者。
- 日本の文学・言語・文化の研究を通して新たな文化創造に参画し、社会に積極的に働きかけ貢献できる者。

入学者選考の観点

- 【AP1】** 国語（古文・漢文を含む）を中心に、日本文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。
- 【AP2】** 自らの知識・技能に基づいて問題を発見し、物事を論理的・客観的に考え整理・分析する力と、それを自らの言葉で表現する能力があるか。
- 【AP3】** 日本の文学・言語・文化の学修・研究に強い意欲を持ち、将来において社会に発信する主体となるために、積極的に学ぶ姿勢があるか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表のとおりです

入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「古典Ａ・Ｂ（言語文化・古典探究）」「現代文Ａ・Ｂ（現代の国語・言語文化・論理国語・文学国語・国語表現）」およびそれに相当する教科を履修していることが望まれます。

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度の狙い
A日程・B日程 V方式	個別学力試験 大学入学共通テスト	◎ ○	○ ○		教科に関する試験で大学での学びに対応しうる学力を有しているかを確かめます。
公募制自己推薦（AO型）	調査書 志望理由書 課題レポート 活動レポート 筆記試験 面接試験	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	レポートで本学科への志向性を、筆記試験で大学での学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。活動レポートは、主体性を持ち他者と協働して学ぶ態度の評価に使用します。
系列三高校推薦	調査書 志望理由書 活動レポート 資格・検定試験の成績 推薦書 筆記試験	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	調査書・筆記試験・志望理由書・活動レポートに基づいて、大学での学びに対応しうる学力を備えているか、進学への意欲があるかを確かめます。
協定校推薦	調査書 志望理由書 活動レポート 資格・検定試験の成績 推薦書 授業レポート 筆記試験 面接試験	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	レポートで大学の講義を理解する能力を備えているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
指定校制推薦	調査書 志望理由書 活動レポート 推薦書 筆記試験 面接試験	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	筆記試験で大学での学びに対応しうる学力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。活動レポートは、主体性を持ち他者と協働して学ぶ態度の評価に使用します。
スポーツ推薦	調査書 志望理由書 推薦書 小論文試験 面接試験	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	本学科での学修に関心があり、運動競技において活躍が期待される者を受け入れます。
院友子弟等特別選考	調査書 志望理由書 活動レポート 課題図書に基づくレポート 筆記試験 面接試験	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	志望理由書で本学科への志向性を、レポートで大学の講義を理解する能力を備えているかを、筆記試験で大学での学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。活動レポートは、主体性を持ち他者と協働して学ぶ態度の評価に使用します。
社会人特別選考	志望理由書 筆記試験 面接試験	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	筆記試験で大学での学びに対応しうる学力と能力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
学士・一般編入学	専門科目学力試験 面接試験	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	専門科目学力試験で日本文学科での学びに対応しうる学力を有しているかを、面接試験で基礎的な学力と進学への意欲があるかを確かめます。
外国人留学生	志望理由書 日本語小論文 面接試験	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	日本語小論文で日本文学科での学びに対応しうる学力および日本語運用能力を有しているかを、面接試験で進学への意欲があるかを確かめます。

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 日本の文学・言語・文化を深く学ぶ

日本文学科では、1年次には3専攻の基礎を幅広く学び、2年次からは専攻に分かれて専門を深める学びを行います。

▶日本文学専攻

上代の『古事記』や『万葉集』、中古の『古今和歌集』や『源氏物語』、中世の『平家物語』や能・狂言、近世の『奥の細道』や『東海道中膝栗毛』、そして近現代の夏目漱石や太宰治といった、日本文学のさまざまな作品や作家を研究の対象とします。学生一人ひとりの興味・関心に合った深い探究ができます。

▶日本語学専攻

古代から現代に至る発音・文字・表記・文法・語彙・表現など、言語としての日本語をあらゆる角度から学びます。『源氏物語』などの古典の文献資料から、現代の話言葉やビジネス現場で使われる言葉、各地でのフィールドワークで明らかとなる方言まで、分析する資料は多岐にわたります。国語教育や日本語教育に関する講義が充実している点も特長です。

▶伝承文学専攻

声によって伝えられてきた昔話や伝説、行為によって伝えられた祭礼や年中行事、形によって伝えられた民具など、文字によって追うことができない文芸や儀礼・風俗といった日本の民俗文化を扱い、その本質を理解することを目指します。各地の民俗文化の実態を明らかにし、地方と中央、過去と未来を繋ぐ文化の動きをとらえ、日本文化に対する理解を深めます。

上記3専攻以外に「書道」「図書館学」「国語教育」「日本語教育」も日本文学科の大きな柱となっています。3専攻のいずれに属していても学修することができます。

日本文学科へようこそ 國學院ならではの「学び」の世界へ

①國學院の「國學」ってなに？

「国学」とは、日本語・日本文化・日本思想について幅広く総合的に研究する学問を言います。江戸時代に始まり、多くの国学者たちが日本とは何かを考え続けてきました。そして、日本古来の生活習慣や考え方などを知るためには、その資料として古典文学を正確に読むことが求められました。日本文学科の「三つの学び」は、どれもこの国学の伝統につらなるものです。日本文学・日本語学・伝承文学の三つが一つになることで、国学の伝統を正しく受け継ぐことができるのです。

②どうして古文を読まなくちゃいけないの？

日本という国には、千年以上も昔からの文書や書物が数多く残っています。日本について深く知ろうとすれば、やはり残されている資料に書かれていることをいねいに読んでいくことが大切になっていきます。そして、その資料の多くが古文で書かれています。日本文学科では、資料の種類や性格を知り、そこで使われていることばについて深く考えることで、より豊かな「書物の読み方」を学んでゆきます。

③なぜ「伝承文学」の専攻があるの？

國學院の特色ある学問に「民俗学」があります。伝承文学専攻は、民俗学を専門的に学ぶコースです。民俗学は、衣食住などの生活習慣や、祭りや行事、昔話や俗信・妖怪など、それまで他の学問が見落としていた領域を研究対象としています。古典文学や日本語の研究でも、民俗学の資料や考え方を取り入れることによって、それまでわからなかった謎が解けることがあります。日本文学科では、國學院でしか学ぶことができない民俗学と日本語学・日本文学の複合した領域を学ぶことができます。

④日本文学科で学んだことを将来に生かすには？

日本文学科の卒業生は、社会の各方面で活躍しています。金融や流通などの業界に就職する人も少なくありません。しかし、國學院の名を高めてきたのは、国語の教員となった卒業生の活躍によるところが大きいです。國學院で学んだ国語教員は、専門的な知識の深さと正確さで尊敬を集めてきました。日本文学科では「書道」の教員免許状や日本語教師の資格も取得できるので、卒業生は活躍の場を広げています。また、文学や書物に関わる仕事を希望する学生も多く、「図書館学」を履修して図書館司書となった卒業生や、「表現文化」領域科目を履修して出版業界や放送業界に就職した卒業生もいます。

授業紹介

日本語学概説Ⅰ・Ⅱ

本講義は1年次の必修科目として、日本語について、その音声・語彙・文法・意味・文字・方言・歴史などの分野を幅広く学修します。「ま」のように濁点を付けられない字があるのはなぜか、「足す」と「加える」の違いは何か、日本語に関するさまざまな問題を考えます。

日本文学演習ⅠA・ⅠB

演習とは、与えられた課題に沿いつつ学生が行う研究発表について、他の受講生もまじえて議論・意見交換を行い理解を深める科目です。8種類前後の演習を準備しています。テーマは年度によって異なりますが、『古事記』『万葉集』『蜻蛉日記』『源氏物語』『平家物語』、御伽草子、近世俳諧、近現代小説などが用意されています。

担当教員によって、発表者が個人で発表するか、グループで発表するか、ペーパーで発表するか、パワーポイントを使うか、質問者の側が挙手して質問するか、質問事項を紙に書いて提出するかなど、さまざまな形式があります。20名前後の受講生ですので、学生同士の相互理解も深まります。

学習指導と学校図書館

学校図書館司書教諭課程の科目です。欧米で考案された学習モデルに基づいて学校図書館の資料やインターネットの情報を活用する授業の形態を考察します。ブレインストーミングなどのアクティブな学習方法を取り入れて、ワークショップ形式で講義と演習を展開します。

日本語学演習ⅡA・ⅡB

『源氏物語』をテキストとした演習です。今日に伝わる源氏物語の本文は、主に平仮名で書かれ、濁点も句読点もかざりかっこも施されていません。演習参加者は分担して、それに漢字をあて各種の符号を施して校訂本文を作成し、現代語訳を付けます。それに、その過程で疑問を持ったことや関心を持ったことについて調べ、考察を加えて、資料として整え、コピーして配布します。その発表に基づいて演習を行います。

現代文化論

民俗学は過去の「伝統的な」生活文化だけでなく現代の生活文化も対象としています。「恵方巻の商品化」「祭礼のイベント化」「妖怪のエンタメ化」など、現代の民俗文化を考える講義です。



書道実習Ⅰ～Ⅳ

実習Ⅰ～Ⅲを通して、楷書・行書・草書・隸書・篆書（篆刻を含む）の漢字の五書体と仮名を、偏りなく学びます。歴代の名品の臨書を中心に、筆写力を養います。実習Ⅳでは、漢字仮名交じりの書や発展的な作品制作に取り組みます。



専任教員

〔日本文学専攻〕

- 石川則夫 教授
近現代文学（特に大正～昭和の小説・評論）
- 岩崎雅彦 教授
中世文学（能・狂言）
- 上野誠 教授
上代文学／万葉文化論
- 竹内正彦 教授
中古文学（『源氏物語』を中心とした平安朝文学）
- 谷口雅博 教授
上代文学（神話・説話）
- 土佐秀里 教授
上代文学（『万葉集』を中心とした上代文学）
- 中村正明 教授
近世文学（江戸時代後期の戯作）／明治初期文学（明治時代前期の散文）
- 野中哲照 教授
中世文学（軍記物語）／歴史叙述
- 荒木優也 准教授
中古・中世文学（平安・鎌倉期を中心とした和歌文学）
- 安西晋二 准教授
近現代文学（主に戦後以降の現代小説）

〔日本語学専攻〕

- 小田勝 教授
日本語学（古典文法）
- 菊地康人 教授
日本語学（現代日本語の文法・敬語）／日本語教育学
- 三井はるみ 教授
日本語学（方言学・現代日本語）
- 諸星美智直 教授
日本語教育学（日本語教育史・ビジネス日本語）／日本語学（近代日本語）／福祉言語学（点字史）
- 吉田永弘 教授
日本語学（文法史）
- 〔伝承文学専攻〕
- 飯倉義之 教授
口承文芸研究／現代民俗
- 伊藤龍平 教授
伝承文学（近世～近現代の説話）
- 大石泰夫 教授
民俗学（特に祭礼・芸能）／東アジアの民俗芸能の比較研究
- 服部比呂美 教授
民俗学（年中行事・習俗慣習・食文化）

■大桑和正 准教授

- 民俗学／民具学／有形文化財〔書道〕
- 橋本貴朗 教授
書道（仮名）／日本書道史
- 野村ひかり 准教授
書道（漢字）／中国書道史
- 〔図書館学〕
- 新藤透 教授
図書館情報学（日本図書館史）
- 須永和之 教授
図書館情報学／学校図書館論／図書館行政と学校図書館の国際的比較
- 〔教職課程〕
- 齋藤智哉 教授
教育方法学／授業の臨床的研究
- 高橋大助 教授
国語教育学／文学教育論／舞台芸術論
- 高山実佐 教授
国語教育学

専門教育科目構成

○数字：単位数

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学科基礎科目	日本文学概説Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学概説Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学概説Ⅰ②・Ⅱ② 漢文学概説②			
		日本文学講読Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学講読Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学講読Ⅰ②・Ⅱ② 漢文学講読Ⅰ②・Ⅱ②		
	基礎日本古典語Ⅰ②・Ⅱ② 書道Ⅰ②・Ⅱ② 書道概論② 影印講読② 基礎漢文学②			
		日本文学演習ⅠA②・ⅠB② 日本語学演習ⅠA②・ⅠB② 伝承文学演習ⅠA②・ⅠB②	日本文学演習ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB② 日本語学演習ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB② 伝承文学演習ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB②・ⅣA②・ⅣB②	
			日本語教育学演習ⅠA②・ⅠB②・ⅡA②・ⅡB② 言語学演習Ⅰ②・Ⅱ② 国語教育学演習Ⅰ②・Ⅱ② 書道演習Ⅰ②・Ⅱ② 表現文化演習Ⅰ②・Ⅱ②	
	卒業論文		卒業論文⑧	
展開科目	日本文学科目群 選択Ⅰ類	日本文学史Ⅰ②・Ⅱ② 日本上代文学研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本中古文学研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本近現代文学研究Ⅰ②・Ⅱ②	日本古典芸能文化論Ⅰ②・Ⅱ② 東アジア芸能文化論Ⅰ②・Ⅱ② 日本文学各論Ⅰ②・Ⅱ② 東アジア比較文学Ⅰ②・Ⅱ② 文献情報処理Ⅰ②・Ⅱ② 日本時代文学史Ⅰ②・Ⅱ② 日本中世文学研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本近世文学研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本近現代文学研究Ⅲ②・Ⅳ② 日本古典文学特殊研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本近現代文学特殊研究Ⅰ②・Ⅱ②	
	日本語学科目群 選択Ⅱ類	日本語史Ⅰ②・Ⅱ② 言語学概論Ⅰ②・Ⅱ② 現代日本語文法Ⅰ②・Ⅱ②	日本語学史Ⅰ②・Ⅱ② 日本語音声学Ⅰ②・Ⅱ② 古代日本語文法Ⅰ②・Ⅱ② 現代日本語研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学各論Ⅰ②・Ⅱ② 言語学特殊研究Ⅰ②・Ⅱ②	
	伝承文学 科目群 選択Ⅲ類	民俗学史Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学研究Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文化研究Ⅰ②・Ⅱ②	伝承文学史Ⅰ②・Ⅱ② 日本民俗学Ⅰ②・Ⅱ② 口承文芸研究Ⅰ②・Ⅱ② 儀礼文化論Ⅰ②・Ⅱ② 比較民俗研究Ⅰ②・Ⅱ② 伝承文学思想② 民俗研究思想② 現代文化論② 映像文化論② 民俗文化財論Ⅰ②・Ⅱ② 民俗芸能論Ⅰ②・Ⅱ② 比較口承文芸論Ⅰ②・Ⅱ②	
	日本語教育 学領域 選択Ⅳ類 国語教育 学領域選 択Ⅴ類	日本語教授法Ⅰ②・Ⅱ②	日本語教育研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本語教育実習Ⅰ①・Ⅱ②	
	書道領域 選択Ⅵ類	中国書道史Ⅰ②・Ⅱ② 書道実習ⅠA①・ⅠB① 書道実習ⅡA①・ⅡB①	日本書道史Ⅰ②・Ⅱ② 書道実習ⅢA①・ⅢB① 書論研究② 古筆学② 篆書法篆刻学② 隷書法② 書道実習ⅣA①・ⅣB①	
	表現文化 領域Ⅶ類	表現文化論Ⅰ②・Ⅱ②	出版文化論Ⅰ②・Ⅱ② 放送文化論Ⅰ②・Ⅱ② 身体表現文化論Ⅰ②・Ⅱ② 文字表現文化論Ⅰ②・Ⅱ② 書誌学Ⅰ②・Ⅱ②	
	関連科目	中国古典読法基礎② 中国学入門② 中国文学通史② 中国文学基礎Ⅰ②・Ⅱ②	史料講読Ⅰ②・Ⅱ② 中国原典研究Ⅰ②・Ⅱ②	

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

中国文学科



中国の古典から近現代文学まで、中国文学を広く学びながら、世界に通じる広い視野と豊かな人間性を育成することを目指しています。中国古典と現代中国語を柱とし、2年次には、興味に応じて「文学研究」「思想総合」「中国語教養」「中国民俗文化」の4プログラムから一つを選択します。

「孔子行状図解」(國學院大學所蔵)



中国文学科
鈴木 崇義 准教授

中国文学科3年
小林 真緒さん

中国文学科3年
稲葉 春陽さん

対談

原典を読むことができる という愉しみ

(学年は取材時のもの)

鈴木 中国文学科は、文学研究・思想総合・中国語教養・中国民俗文化という4つのプログラムがあり、中国文学を柱にしながらもその周辺の様々な領域について学ぶことができます。学生数に対して教員の数が比較的多いため、両者の距離が近いというのが特徴です。

私は、漢魏六朝時代を中心に、「辞賦（じふ）」という韻文とも散文ともつかない中国文学独特のジャンルについて研究しています。

稲葉 私は、高校の時から漢文に興味を持っていましたが、担任の先生から國學院大學の中国文学科を勧められたのが入学のきっかけです。2年次になって文学研究プログラムを選んだのですが、中国文学に特化した幅広い学びを得ることができて、とても満足しています。またそれとは別に、神道の授業なども受けてみたのですが、そちらも面白かったですね。

小林 私は、指定校制の枠のひとつに國學院大學文学部の中国文学科があったため、選びました。中国文学に特に興味があったわけではなかったのですが、鈴木先生の授業を受けて、興味を持ちました。最初はとても難しかったのですが、授業を通して何よりも予習することの大切さも学びました。

鈴木 私の授業は、資料を多く提示するようにしています。学生は何に関心を持つのか、何を好きになるのかわかりません。ですから、いろんな作品を紹介して、学生一人ひとりが興味関心の幅を広げてくれればと思っています。学科全体としても、学生の学びたいという意欲を伸ばす環境が整備されていると思います。

稲葉 自分が興味を持ったことに対して、先生方が熱心に相談に乗ってくださるため、自然に勉強する意欲が向上します。最初はぼんやりとした興味でも、自分の選択した分野について掘り下げていけば、満足できる学びを得ることができるのが良いですね。

小林 私は、先生方の言葉で心に残っているものがたくさんあ

ります。そのひとつに、入学して初めての授業で聞いた「文学は身近な人の気持ちを考えるところから始まる」という言葉があります。相手の気持ちを汲み取るのは、「学んだことを生かせた」と実感できる瞬間です。また、國學院大學では「和装デー」という七夕のイベントがあるのですが、その七夕をテーマに由来や意味を解説していただいた鈴木先生の授業も印象深かったです。

鈴木 学生に対しては、中国文学の世界を楽しく学んでもらいたいと思って接しています。中国文学は長い歴史を持ち、日本でも歴史を通じて漢文訓読という技法により読み味わわれてきました。外国文学でありながら、日本の古典でもあったわけです。中国文学科には日本との関わりも含め、幅広く学べる環境がありますので、いろいろな作品に触れ、「面白い!」という実感を得てほしいと思います。

●中国文学科を漢字一文字で表すと…



読

中国に関する様々なことを、「読む」行為を中心に学ぶことを基本としています。



入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

求める人材、期待される入学者像

- 中国古典の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 中国近現代文学の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 中国語の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 中国文化の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。
- 教職を目指しての専門分野の学修・研究に、強い興味・関心を持つ者。

入学者選考の観点

- [AP1]** 国語（古文・漢文を含む）を中心に、中国文学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。
- [AP2]** 知識・技能に基づいて、論理的に考え、自主的に判断し、それを正確に表現する能力を持っているか。
- [AP3]** 中国の文学や文化に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表のとおりです

入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「国語総合[古文・漢文を含む]（現代の国語・言語文化）」で古文・漢文の基礎をしっかりと身につけ、「世界史A・B（世界史探究）」では、特に中国の歴史・文化とわが国との関係について、十分な知識を身につけていることが望めます。

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度の狙い
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		本学科での学修に必要な国語（古文・漢文を含む）等の学力を十分に持つ者を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		
公募制自己推薦（AO型）	調査書	◎			中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わりようとする意欲のある者を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート	○	○	○	
	授業レポート	○	◎		
	面接試験	○	○	◎	
系列三高校推薦	調査書	◎			中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に積極的に関わりようとする意欲のある者を、本学系列三高等学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート	○	○	○	
	資格・検定試験の成績	◎			
協定校推薦	推薦書	○	○	○	中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わりようとする意欲のある者を、本学から依頼した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	調査書	○			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート	○	○	○	
	資格・検定試験の成績	◎			
	推薦書	○	○	○	
	授業レポート		○		
指定校制推薦	面接試験			○	中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わりようとする意欲のある者を、本学が指定した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	調査書	◎			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート	○	○	○	
	資格・検定試験の成績	◎			
	推薦書	○	○	○	
	レポート	○	◎		
スポーツ推薦	面接試験	○	○	◎	本学科での学修に関心があり、かつ運動競技において活躍が期待される者を受け入れます。
	調査書	○			
	志望理由書		○	◎	
	推薦書	○	○	○	
	小論文試験		○		
院友子弟等特別選考	面接試験			○	中国の文学や文化に強い興味・関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わりようとする意欲のある院友（本学卒業生等）の子弟等を受け入れます。
	調査書	◎			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート	○	○	○	
	課題図書に基づくレポート	○	◎		
	授業レポート	○	◎		
学士・一般編入学	面接試験	○	○	◎	学士または編入学の資格を有し、中国の文学や文化への強い興味・関心及び基礎知識を持つ者を受け入れます。
	専門科目学力試験	○	◎		

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 中国古典と現代中国語／興味に応じて選べる4つのプログラム

中国古典の学修と現代中国語の習得を大きな柱にしています。

- 古典は普遍的な価値を持ち、現代のさまざまな問題にも主体的に取り組める力になります。
- 現代中国語については、学修とあわせて留学を推奨しています。実際に現地で得られる体験を大切に考え、約5・6か月間のセメスター留学（選択制）をカリキュラムに組み込んでいます。

4つのプログラムから、自分の興味に応じて選べます。

1年次に基礎を学び、2年次はじめに下記より一つを選択して学びを深めます。

- ▶文学研究プログラム ～文学の深い探究～
- ▶思想総合プログラム ～思想を軸に幅広く学ぶ～
- ▶中国語教養プログラム ～中国語を存分に～ ※セメスター留学必修
- ▶中国民俗文化プログラム ～中国の人と生活を知る～

詳しくは別冊の中国文学科ガイドブックをご覧ください。

中国文学科の4年間

時 期	主な学修項目
1年前期（第1セメスター）	「中国文学入門」で中国文学の骨子を知り、古典読解と中国語の基礎を学びます。学修姿勢を確立する時期です。
1年後期（第2セメスター）	古典読解・中国語運用能力・4プログラムの導入的内容をここまで固めます。留学に求められる基礎力を修得します。
2年前期（第3セメスター）	プログラムを選択し、学びを深めます。セメスター留学選択者は、この時期に留学します。
2年後期（第4セメスター）	2年～4年次に、各プログラムの「展開科目」を履修していきます。各自の志向に応じた内容を選び、学べます。
3年前期（第5セメスター）	以降は応用・発展・総合的学修が主となります。「卒業論文Ⅰ」では卒業論文に関する基礎を身につけ、テーマを設定します。
3年後期～4年後期 （第6～8セメスター）	「中国学応用演習Ⅰ～Ⅲ」での活動を中心に、卒業論文を制作、完成し、学びを集大成します。

卒業論文と卒業論文発表会

大学での学びの成果といえば卒業論文、という印象は、今も強いでしょう。卒業論文は、本学科でも必修です。

卒業論文を選択すると、まず「卒業論文Ⅰ」（第5セメスター）で必要な調査を行いながらテーマを決定し、「卒業論文Ⅱ」で卒業までの3セメスターをかけて、教員の指導を受けながら論文を制作します。

また、完成後には、「卒業論文発表会」を行います。優秀論文数本の要旨が発表され、4年生だけでなく、これから選択する1～3年生も参加して熱心に耳を傾け、質疑応答も行われます。最優秀論文には、國學院大學中國學會より「中國學會奨励賞」が贈られ、表彰されます。

就職フォーラム

卒業後、どのような職に就くか。就職は在学中の大きな関心事でしょう。本学科では、毎年12～1月ごろに「中国文学科学生対象就職フォーラム」を実施しています。実際の企業の方からアドバイスをいただいたり、内定を受けた4年生に、一般企業・公務員・教員の部門別に、心がけや体験談を話してもらったりします。3年生を中心に参加者も多く、質疑応答も活発に行われて、今後の自分の活動・取り組み方の参考になっています。



授業紹介

中国文学入門

1 年前期開講の必修科目で、中国文学に関する事項を概観する講義です。中国の文学はどのように発生したのか。文学は歴史を通じてどのように展開していったのか。これらの問いから出発し、どのようなテーマがあるのか、どんな人たちが文学を担ったのか等について、幅広く学び、4 年間の学修の基礎を養います。

中国古典読法Ⅰ・Ⅱ

1 年次前期・後期開講の、中国古典研究の前提となる、原典読解力を養う講義です。読解は漢文訓読を用いて行い、本講義を通じて、古典文の基本構造や句法、漢文訓読や内容読解のための技術・考えなどを、体系的・継続的に学びます。なお、初学者用に、「中国古典読法基礎」（1 年次、選択科目）もあります。



漢字情報処理Ⅰ・Ⅱ

「漢字情報処理技術の向上」のための科目として、2 年次に「Ⅰ」、3 年次に「Ⅱ」を設けています。「Ⅰ」では、中国文学・漢字文化圏の学芸を学ぶ際に有用なコンピュータ技術と情報処理能力を身につけ、漢字文献の入力並びに情報の活用、書式の整ったレポート作成技術を修得します。また、3 年次の「Ⅱ」では、レポートや卒業論文の制作に有効な、情報の高度な検索（電子情報だけでなく、図書館の徹底活用も含む）や加工に関する技能を中心に講義・演習します。中国文学科の様々な専門分野の知識を総動員して探し求めねばならない「テーマ」を課題として与え、自身の専攻以外の内容にも幅広く触れ、知見を広げるとともに、各種の「工具書」に実際に触れ、活用できるようにします。

楚辞演習

楚辞は中国文学の祖とされる古典で、複雑な比喻を交えて、多彩な感情が表現されています。演習では受講者の解釈を一字一字検討しつつ進めます。調べてさらに深く考える、古典を「読む」本質を実践できる演習です。



中国語演習

本演習は1 年次後期、週2 回行われます。1 年次前期の「中国語基礎演習」（週2 回）に習得した中国語文法の基礎を再確認すると同時に、初中級の文法事項を盛り込んだ会話を学習し、さらなる読解力の養成を目指します。テキストの朗読、暗唱への主体的な取り組みを通じて、文法理解を深め、正確な発音を習得することもできます。



卒業論文Ⅰ

卒業論文は、自分でテーマを見つけ、長い時間をかけて調査し、考察して執筆します。テーマの設定・資料の収集と分析・主張の形成と発信——研究の手順に従い、自らの力で進める卒業論文制作は、大学での学修の集大成といえます。

卒業論文は必修です。「卒業論文Ⅰ」では、テーマの考え方からスタートします。5 月には、実際の制作にあたる「卒業論文Ⅱ」の担当教員全員が授業の中でプレゼンテーションを行います。6 月には受講生一人一人が自分の関心に基づき、教員と面談をして、7 月に題目（第1 次題目）を決定します。ここまでの指導を行います。

専任教員

- 浅野春二 教授
中国宗教文化／道教の儀礼と民間信仰の研究
- 石本道明 教授
中国古典文学／宋代文学の研究
- 澤崎久和 教授
中国古典文学／唐代文学の研究

- 宮内克浩 教授
中国古典文学／漢代辞賦文学の研究
- 青木洋司 准教授
中国哲学史／宋代学術の研究
- 佐川禰子 准教授
中国哲学・思想／漢文学

- 鈴木崇義 准教授
中国古典文学／六朝文学の研究
- 長谷川清貴 准教授
中国思想／漢代思想の研究
- 牧野格子 准教授
中国近現代文学／謝冰心文学の研究

■ 専門教育科目構成

○数字：単位数

◆は、セメスター留学読替予定科目（本学での開講なし）

			1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学科基礎科目	学科導入科目		中国古典読法基礎② 中国古典読法Ⅰ②・Ⅱ② 中国思想入門② 中国民俗文化入門②			
		学科基礎科目	中国文学入門② 中国語基礎演習② 中国語演習② 漢字情報処理Ⅰ②	中国文学史② 中国古典詩講読Ⅰ②、Ⅱ② 漢字情報処理Ⅱ②	中国古典と日本②	
	演習・卒業論文		論語演習②	詩経演習②	楚辞演習②・文選演習② 中国学応用演習Ⅰ② 卒業論文Ⅰ②	中国学応用演習Ⅱ②・Ⅲ③ 卒業論文Ⅱ⑥
プログラム専修科目	プログラム導入科目	文学研究	(中国古典の世界②)			
		思想総合	(中国「君子」の世界②)			
		中国語教養	(現代中国の世界②)			
		中国民俗文化	(中国文化の世界②)			
	プログラム展開科目	文学研究		中国文学と感性Ⅰ～Ⅲ (各②) 中国文学と表現Ⅰ～Ⅲ (各②) 中国文学と時代Ⅰ～Ⅲ (各②)		
		思想総合		中国思想と学術Ⅰ～Ⅲ (各②) 中国思想と時代Ⅰ～Ⅲ (各②) 中国の宗教と伝統Ⅰ～Ⅲ (各②)		
		中国語教養	教養中国語Ⅰ②	教養中国語Ⅱ②・Ⅲ② 応用中国語Ⅰ～Ⅳ (各②) 実践中国語Ⅰ◆～Ⅴ◆ (各②)		
		中国民俗文化		中国古典と民俗文化Ⅰ～Ⅲ (各②) 中国民俗文化と心Ⅰ～Ⅲ (各②) 中国民俗文化と形Ⅰ～Ⅲ (各②)		
			日本文学概論Ⅰ②、Ⅱ② 日本語学概論Ⅰ②、Ⅱ②	東洋史入門② 儒学と国学②		
	関連科目		書道Ⅰ②、Ⅱ②	日本文学講読Ⅰ②、Ⅱ② 日本文学史Ⅰ②、Ⅱ② 日本語史Ⅰ②、Ⅱ② 伝承文学講読Ⅰ②、Ⅱ② 日本語教授法Ⅰ②、Ⅱ② 書道実習ⅠB①、ⅠB①	書道実習ⅡA①、ⅡB① 書道実習ⅢA①、ⅢB① 書道実習ⅣA①、ⅣB① 古典教育研究Ⅰ②、Ⅱ② 国語教育学概論Ⅰ②、Ⅱ② 国語教育実践研究Ⅰ②、Ⅱ②	

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

外国語文化学科

言語を学ばなければ、文化を理解することはできません。また、文化を知らなければ、言語を使いこなすことはできません。言語と文化を総合的に学ぶことで、日本文化と外国文化の違いや共通点を理解し、異文化間の橋渡し役となるグローバルな視野を持った人間を育成します。

「マッターホルン(スイス)」
(撮影:外国語文化学科 笠間直穂子教授)



外国語文化学科4年
武居 千晶さん

外国語文化学科
進藤 久乃准教授

外国語文化学科4年
垂石 果音さん

対談

学問領域を 越えて学ぶことができる

(学年は取材時のもの)

進藤 外国語文化学科の特長は2点あります。1点目は、言語と文化を一体のものとして学ぶカリキュラムが組まれていること。2点目は、英語と第2外国語（ドイツ語・フランス語・中国語から1言語を選択）の2言語を4年間通して学ぶことができます。教員の専門が多岐にわたっているため、その中から好きなものを選んで学ぶことができます。また卒業論文では、外国の言語・文化に関わることであれば、様々なテーマを扱うことができます。興味のあることを探求する方法を自分自身で見つけ、発信する訓練もできますので、将来の仕事にもつながると思います。

垂石 私は卒論のテーマを「フランス語の絵本の歴史」にしました。高校時代は英語が得意だったのですが、國學院大學に入ってフランス語を学んでいくなかで、学科のイベント*をきっかけに、フランス語の絵本の訳の言い回しが、翻訳者によって違いがあるということに興味を持ったためです。

進藤 私の専門はシュルレアリスムを中心とした20世紀のフランス文学ですが、テキストとイメージの関係についても研究していますので、それらの要素が密接にかかわっている「絵本」という垂石さんの卒論テーマは大変興味深く感じています。また、武居さんのように外国語を学びつつ、狭義の言語学・文学とは別の分野の学問にも興味を持ち、それをテーマにすることもできるため、そこに外国語文化学科の楽しさがあると思います。

武居 私は、あまり得意でなかった英語を基礎から学びたいという目的で國學院大學を選びました。卒論は心理学の「セルフコンパッションと学生の幸福度の関係」をテーマにしました。知人が病気になってしまったのをきっかけに心理学に興味を持ち、色々な本を読んでいくうちにそのテーマにたどり着いたのですが、英語と共に心理学を研究する本学科の教授による指導

を受けられたのも大きかったです。

垂石 國學院大學の良いところは、英語も第2外国語も、どちらもおそろかにすることなく自分の興味を持った分野についてバランスよく学べることです。また様々な授業を受けることができるため、途中で興味の方向が変わっても、幅広い選択肢の中から選び直すことができるのも良い点だと思います。

武居 以前から私は日本史にも興味を持っていましたが、そういった別の分野でも、学部を越えて広く学べるのが國學院大學の最大の特徴だと思います。進藤先生の授業もそうだったのですが、少人数の授業が多いため担当の先生との距離が近く、何でも聞けるというのも良いですね。

進藤 指導する教員は、学生がやってみたいことを尊重します。受け身にならず、ぜひ自分のやりたいことを見つけてチャレンジしてほしいと思います。

●外国語文化学科を漢字一文字で表すと・・・



越

地域を越境し、言語、文学、表象文化、教育など、学問領域を越えて学ぶことができるため。



*外国語文化学科では、《文化発信型英語力開発活動》や《多言語・多文化の交流と共生》プロジェクト主催のイベントが開催されています。

入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

求める人材、期待される入学者像

- 英語および選択必修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語のうち一言語）を使えるようになりたいという意欲をもつ者。
- 英語、ドイツ語、フランス語、中国語を話す地域を中心に、世界各地の文化や習慣を知り、知識の幅を広げたいという意欲がある者。
- 日本と世界各地のさまざまな言語・文化を照らし合わせながら、グローバル社会における日本文化の発信にかかわろうとする意欲がある者。

入学者選考の観点

[AP 1] 外国語、国語を中心に、外国語文化学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。

[AP 2] 自分の知識・技能を適切に組み合わせて、論理的に考え、答えを導き出し、表現する能力をもっているか。

[AP 3] 自発的に学び、多様な価値観をもつ人々と積極的に協力する姿勢があるか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表のとおりです

入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ）」「英語表現Ⅰ・Ⅱ（論理・表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）」「国語総合〔現代文〕（現代の国語・言語文化〔のうち近代以降の文章〕）」を身につけ、さらに「世界史B（世界史探究）」「日本史B（日本史探究）」「地理B（地理探究）」から一つ以上の教科を学んでおくことが望めます。

以上に加えて、実用英語技能検定（英検）2級以上（CSE2.0：1980以上）、TOEIC L&R 500点以上を獲得できる英語能力を持つことが望めます。

入試制度	選考方法	AP 1	AP 2	AP 3	本入学制度の狙い
A日程・B日程 V方式	個別学力試験 大学入学共通テスト	◎ ○	○ ○		外国語・外国文化を深く学ぶための総合的な学力を持つ者を受け入れます。
公募制自己推薦（AO型）	調査書	◎			本学科に対する強い志向性を重視します。その上で、外国語・外国文化を学ぶのに必要な基礎学力を持つ生徒を受け入れます。
	志望理由書		○ ○	◎	
	活動レポート	○ ○	○ ○	◎	
	資格・検定試験の成績	◎			
系列三高校推薦	面接試験	◎ ◎	○ ○		系列三高校の生徒で本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ者を受け入れます。
	調査書	◎		○	
	志望理由書		◎ ○	○	
	活動レポート		○ ○	◎	
協定校推薦	資格・検定試験の成績	◎			本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ者を受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	推薦書	○ ○ ○ ○			
	調査書	○			
	志望理由書		◎ ○	○	
	活動レポート		○ ○	◎	
	面接試験			○	
指定校制推薦	調査書	◎			指定校の生徒で本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力を持つ者を受け入れます。
	志望理由書		◎ ○	○	
	活動レポート		○ ○	◎	
	資格・検定試験の成績	◎			
	推薦書	○ ○ ○ ○			
	レポート	○ ○	◎		
院友子弟等特別選考	面接試験	○ ○ ○ ◎			院友子弟等で本学科に対する強い志向性があり、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力をもつ者を受け入れます。
	調査書	◎			
	志望理由書		◎ ○	○	
	活動レポート		○ ○	◎	
	課題図書に基づくレポート	○ ○	◎		
	資格・検定試験の成績	◎			
学士・一般編入学	面接試験	◎ ◎			本学科への学士入学または一般編入学を強く望み、外国語・外国文化を学ぶ上で必要な基礎学力を持つ者を受け入れます。
	資格・検定試験の成績	◎			

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 二つのコースで理解を深める言語と文化

外国語文化学科では、言語と文化を一体のものとして捉えるカリキュラムを用意しています。必修として全員が英語を学ぶほか、入学時からドイツ語、フランス語、中国語のいずれか1言語を選択し、合わせて2言語を4年間学ぶことができます。同時に、英・独・仏・中国語圏の文化について知識を得ることで、主体的に異文化コミュニケーションに関わる力を養います。

言語に重心を置くか、文化に重心を置くかにより、2年次に二つのコースのいずれかを選択し、学修を深めます。

▶外国語コミュニケーションコース

世界中のさまざまな言語・文化的背景を持つ人々と、主体的にコミュニケーションできる能力を身につけることを目標とします。学生それぞれの興味・関心により、共通語としての英語を中心に学ぶこともできますし、選択外国語（ドイツ語・フランス語・中国語）を重点的に学ぶこともできます。実際に現場で使える外国語の修得を重視しています。

▶外国文化コース

言語と文化を一体として捉える視点から、外国語とその国の文化を同時に知り、偏見のないグローバルな視野と判断力を身につけることを目標とします。各地域の文学・芸術・社会、比較文化や文化交流について広く学ぶことで、さまざまな文化を知るとともに、自分自身や日本に関する理解を深め、国際社会において主体的に活躍する力を培います。



授業紹介

英語演習 I A・I B

英語の四技能に目を配りつつ、コミュニケーション能力の土台を築き上げるための授業です。正しい発音法の理解と実践、それに基づいた基礎的な会話演習、そして英語長文の要約文の作成など、多様なアクティビティを通じて自分なりの土台を構築していきましょう。



Select English I・II

上級者向けの、英語のみで行う授業です。特に留学帰りの学生や、既に高度な英語能力を身に付けている学生がさらに力を伸ばすことができます。Iでは神話、IIでは現代社会について講読・発表・議論します。



ドイツ語研究 I・II

初めて音声学・音韻論を学ぶ人でも理解できるように、音声や音韻に関わる身近な現象を取り上げ、画像や音響資料などで確認しながら授業を進めます。また、日本語とドイツ語の母音や子音、ストレスやイントネーション、音韻体系の違いなどを解説する他、音声分析ソフトを使って視覚的に自分の音声を観察し、明瞭性の高い標準ドイツ語の発音を身につける練習をします。日本語とドイツ語の音声の違いやそのメカニズムを知ることで、言語活動に欠かせない音声と音韻についての理解を深めていきます。

英語コミュニケーション演習 A・B

1・2年生で培った外国語コミュニケーション能力を土台として、プレゼンテーションやディベートなど、学生が主体となるアクティビティに取り組んでもらう授業です。ここでは瞬発力も大切ですが、自分の論点を明確にし、それを明快な言葉（外国語）で表現するという語学的な編集力も重要になります。外国語でのコミュニケーションに必要なのは、言おうとすることを日本語で思い描いた後、それを一語一語直訳することではなく、言おうとすることの「意味/内容」を外国語に変換して伝えることであり、ここはそれを体感できる場だと言えるでしょう。他文化理解の鍵となる表現作法を学びながら、授業に「参加する」というより、授業を「創造する」主体となってください。

中国地域文化論 I・II

中国は、公式に認められただけでも56の民族が住む多民族国家であり、それぞれの民族の文化は想像を超える多様性を見せています。この授業では、中国南部の少数民族地域に住んだ経験のある講師が、これらの民族の歴史、言語、宗教、衣食住などについて、写真や映像を交えながら紹介します。講師が現地で調達してきたポップミュージックの映像には、おそらく他では見ることもできないものも含まれています。現地の空気を感じてもらいながら、一面的になりがちな中国理解に一石を投じます。

文化総合演習 A・B

3・4年生が自分で設定したテーマについて、研究発表と討論を重ねます。また、国内外の社会や文化を理解するキーワードについて、教員がファシリテーターとなって全体で討論し、卒業論文につながる方法論を学びます。



専任教員

- 浅井理恵子 教授
英語／現代アメリカ史・ジェンダー史
- 岩瀬由佳 教授
英語／説話比較研究
- 黒澤直道 教授
中国語／中国の文化と民族
- 穴戸節太郎 教授
ドイツ語／ドイツ現代文学・思想・文化
- 白井重範 教授
中国語／中国近現代文学
- 高橋昌一郎 教授
英語／論理学、英米哲学、認知科学

- 高屋景一 教授
英語／教育哲学、教育思想史、カリキュラム論
- 新倉真矢子 教授
ドイツ語／音声学、音韻論、ドイツ語教育
- 針谷壮一 教授
中国語／現代中国語学
- 深谷優子 教授
教育心理学
- 福井崇史 教授
英語／19世紀末アメリカ文学、批評理論
- 水口学 教授
英語／理論言語学、生物言語学、統辞論

- 山西治男 教授
英語／英米文学・文化、翻訳
- 笠間直穂子 教授
フランス語／近現代フランス語文学
- 上石田麗子 准教授
英語／近現代イギリス文学・文化
- 進藤久乃 准教授
フランス語／20世紀フランス文学
- スピアーズスコット 准教授
英語／日本中世文学（和歌文学）
- 藤野敬介 教授
英語／英文学、教育催眠

専門教育科目構成

○数字：単位数

		1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
専門基礎科目	導入科目	外国語文化導入演習② 外国文化入門②			
	外国語基礎演習	英語演習ⅠA②・ⅠB② 英語文献演習ⅠA②・ⅠB② ドイツ語演習ⅠA②・ⅠB② フランス語演習ⅠA②・ⅠB② 中国語演習ⅠA②・ⅠB②	英語演習ⅡA②・ⅡB② 英語文献演習ⅡA②・ⅡB② ドイツ語演習ⅡA②・ⅡB② フランス語演習ⅡA②・ⅡB② 中国語演習ⅡA②・ⅡB② 英語表現A②・B② ドイツ語表現A②・B② フランス語表現A②・B② 中国語表現A②・B②		
		英文法A②・B②			
	文化基礎演習		文化基礎演習A②・B②		
専門応用科目	外国語演習			英語コミュニケーション演習A②・B② ドイツ語コミュニケーション演習A②・B② フランス語コミュニケーション演習A②・B② 中国語コミュニケーション演習A②・B② 英語展開演習A②・B② ドイツ語展開演習A②・B② フランス語展開演習A②・B② 中国語展開演習A②・B②	
発展科目	選択Ⅰ類 (言語系)			英米語研究Ⅰ②・Ⅱ② ドイツ語研究Ⅰ②・Ⅱ② フランス語研究Ⅰ②・Ⅱ② 中国語研究Ⅰ②・Ⅱ② 日本語学Ⅰ②・Ⅱ②	
			ビジネス英語Ⅰ②・Ⅱ②	Select EnglishⅠ②・Ⅱ②	
	選択Ⅱ類 (文化系)		比較文化論Ⅰ②・Ⅱ② 英米地域文化論Ⅰ②・Ⅱ② ヨーロッパ地域文化論Ⅰ②・Ⅱ② 中国地域文化論Ⅰ②・Ⅱ②		
				外国文学Ⅰ(英)②・Ⅱ(米)② Ⅲ(独)②・Ⅳ(独)② Ⅴ(仏)②・Ⅵ(仏)② Ⅶ(中)②・Ⅷ(中)② 情報文化論Ⅰ②・Ⅱ②	
	演習・卒業論文			外国語総合演習A②・B② 文化総合演習A②・B② 卒業論文⑧	

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

史学科



「日本史学」「外国史学」
「考古学」「地域文化と景観」
の4コースに加えて、一般企業や公務員としての就職を目指すSプログラム、大学院進学や教職・学芸員としての就職を目指すPプログラムの2プログラムを設定したカリキュラムを導入しています。多様かつ幅広い専門分野での実証的な歴史学と、学生自身のキャリアデザインに基づいた学びを実践しています。

〔福島県の慧日寺跡の復元金堂〕(撮影・史学科 青木敬教授)

史学科
江川 式部 准教授

史学科3年
岡田 采也 さん

対談

史料の背景を探求することに 史学の醍醐味がある

(学年は取材時のもの)

江川 史学科には、日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観という4つの専門コースがあり、日本史学には古代・中世・近世・近現代に各2名、外国史学には西洋史・東洋史に各2名、考古学及び地域文化と景観に各2名の専任教員がいることで、全時代をカバーした多彩な歴史学が学べるというのが他にない特徴です。さらに、博物館学と教職課程の各2名の専任教員が、学芸員資格や教員養成の面でサポートしています。歴史知識だけでなく、古文書の取り扱い方や、それらを読む技術など、実戦的な力を養うこともできます。

岡田 私は、もともと中国史を学びたいと思っていたのですが、同時に日本史や日本文化についても関心があったため、「歴史を学ぶには、この大学しかない！」と思って國學院大學を選びました。今、卒論のテーマについて考えているところですが、古代中国の人々はどんな生活をしていたのか、お墓に描かれた絵などから紐解いていくという内容にしようと思っています。

江川 私の専門は、中国の4～12世紀の祭祀儀礼制度です。中国のような多民族・多言語・多人口の国家においては、法律・軍事・経済面だけでなく、精神面からの統制が必要でした。秩序を維持するために「礼」の考え方に基づいた制度である「礼制」が、どのような役割を果たしてきたのかということについて研究しています。私の担当ゼミは、史学基礎演習・史学展開演習・史学応用演習です。ゼミには、「これをやりたい」という思いを持った学生が多いのですが、「ライバルは隣の人ではなく自分自身です」と最初の段階で伝えて、「自分のやりたいこと」に邁進できるようにサポートしています。

岡田 國學院大學は他の学部の授業も受けられるほか、史学科ではいろいろな国や地域の歴史も学ぶ機会が多く、時代や物ごとを結びつけて考える力がつき、体系的な歴史観が身につきます。

私も神道文化や法制史の授業を受けてとても参考になりました。

江川 史学科には、「自分はこの時代のこれを学びたい！」といった指向性の強い人が多く入ってくるのですが、それだけを学んでも途中で行き詰まるものです。そうならないよう、1～2年生の間はいろいろな授業を受けるように史学科全体でも指導しています。また、古文書などの史料を読み解く力をつけるのも大切です。

岡田 「和装デー」といった季節のイベントやサークルなど、大学生活の中に日本文化が自然に溶けこんでいるのも國學院大學の特徴だと思います。日本文化に興味がある人たちと学部学科を越えてその魅力を共有できるのも、とても良いところです。

●史学科を漢字一文字で表すと・・・



記

人々が記憶し記録してきた史資料の内容を正確に読み解き、なぜそのようなモノや記録が残されたのか、その背景を探求することに史学の醍醐味があります。



入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

求める人材、期待される入学者像

- 日本や世界の歴史に関心を持ち、さらに専門的な知識を学んで理解を深めたい者。
- 歴史資料の調査や研究方法を学び、歴史研究の発信や文化財の保護・活用にかかわりたいという意欲がある者。
- 歴史上の諸問題に関心を持ち、さまざまな価値観を持つ人々と協力しながら、新しい社会を創造していこうとする意志を持つ者。

入学者選考の観点

- 【AP1】 地理歴史、国語、英語を中心に、史学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を修得しているか。
- 【AP2】 物事を論理的・客観的に考える力があり、それらを自分の言葉で発信する能力があるか。
- 【AP3】 日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観（歴史地理）分野の学修・研究に強い関心を持ち、かつ主体的に学ぶ姿勢を備えているか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表のとおりです

入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「日本史B（日本史探究）」「世界史B（世界史探究）」「地理B（地理探究）」から一つ以上を学んでおくことが望まれます。さらに、「国語総合〔古文・漢文を含む〕（現代の国語・言語文化）」「コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ）」「英語表現Ⅰ、Ⅱ（論理・表現Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ）」およびそれに相当する教科について、基礎学力を身につけておくことが望まれます。

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度の狙い
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		本学科での専門的学修に必要な日本史・世界史・地理に関する基礎知識、および歴史資料を理解し、学修の成果を発信するために必要な国語（古文・漢文）・英語などの言語能力を十分に備えた者を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		
公募制自己推薦（AO型）	調査書	◎			歴史・地理分野の研究に強い関心を持ち、本学科での学修に主体的に関わりようとする意欲的な者を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	レポート		◎	○	
	活動レポート			◎	
	論述試験	○	◎		
系列三高校推薦	面接試験		○	◎	建学の精神を理解し、高校での学修成績が優秀な者を受け入れます。
	調査書	◎			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート			◎	
	資格・検定試験の成績	◎		○	
協定校推薦	推薦書	○	○	○	高等学校での学修成績が優秀であり、かつ本学科での修学に意欲的な者を受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	調査書	◎			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート			◎	
	資格・検定試験の成績	◎		○	
指定校制推薦	推薦書	○	○	○	高等学校での成績が優秀であり、かつ本学科での修学に意欲的な者を受け入れます。
	授業レポート		○		
	面接試験			○	
	調査書	◎			
	志望理由書		○	◎	
スポーツ推薦	活動レポート			◎	本学科での学修に関心があり、かつ運動競技において活躍が期待される者を受け入れます。
	資格・検定試験の成績	◎		○	
	推薦書	○	○	○	
	筆記試験		◎	○	
	面接試験		○	◎	
院友子弟等特別選考	調査書	○			本学科での学修に関心があり、かつ運動競技において活躍が期待される者を受け入れます。
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート			◎	
	課題図書に基づくレポート	○	◎		
	論述試験	◎	○		
院友子弟等特別選考	面接試験			◎	建学の精神を理解し、本学科での修学に意欲的な院友子弟等を受け入れます。
	調査書	◎			
	志望理由書		○	◎	
院友子弟等特別選考	活動レポート			◎	建学の精神を理解し、本学科での修学に意欲的な院友子弟等を受け入れます。
	課題図書に基づくレポート	○	◎		
院友子弟等特別選考	論述試験	◎	○		建学の精神を理解し、本学科での修学に意欲的な院友子弟等を受け入れます。
	面接試験			◎	
院友子弟等特別選考	専門科目学力試験	◎	○		本学科での学修・研究に明確な目的意識と高い意欲を持つ学生を受け入れます。
	面接試験		○	◎	
院友子弟等特別選考	志望理由書		○	◎	日本語の駆使能力を有し、本学科での学修に強い関心を持つ外国人留学生を受け入れます。
	日本語小論文	○	◎		
院友子弟等特別選考	面接試験			◎	日本語の駆使能力を有し、本学科での学修に強い関心を持つ外国人留学生を受け入れます。
	日本語小論文	○	◎		

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 4つの専門コースで学ぶ実証的な歴史学

1. 4つのコースと幅広い専門分野

日本史学・外国史学・考古学・地域文化と景観の4つのコースがあり、幅広い専門分野の中から自分の専攻を選択できます。文字史料に基づく文献史学以外にも、考古資料・美術工芸品・文化景観などを扱う多様な授業を開講しています。

2. SプログラムとPプログラム

卒業後のキャリアデザインに合わせて選択する2つの履修プログラムが用意されています。一般企業への就職や公務員を目指す人には、幅広く歴史の教養を身に付けるStandard career program (Sプログラム)、教員や専門職、大学院進学を目指す人には、歴史をより深く学ぶProfessional career program (Pプログラム)を推奨します。

3. 充実した演習と卒業論文

「史学導入演習」「史学基礎演習」「史学展開演習」「史学応用演習」の各演習科目を4年間かけて段階的に履修しながら、歴史学の研究法を実践的に学びます。2年次には専攻を決め、3年次から指導教員による論文指導が始まります。4年間の学びの総括となるのが卒業論文です。

史学科の学び



國學院大學文学部史学科では、1年次必修科目「史学導入演習Ⅰ」で使用するテキストを作成しました。「史学導入演習Ⅰ」の授業は、史学科生に求められる基礎知識・能力・研究倫理・学修姿勢を身につけること、歴史学の基本的な研究方法にふれることを目的として、1年次前期に設置されています。具体的には以下の5点を目標に、本テキストに沿って授業が行われます。

- (1) 「学びの場」である史学科の歴史やカリキュラム・特徴を理解できる。
- (2) 大学での学び方、生活のマナーを身につけ、主体的に行動できる。
- (3) 学修に必要な知識・情報（書籍・論文）の入手の仕方、情報ツールの活用法、学修・研究上の倫理（ルール）を習得する。
- (4) 学んだことをまとめ、考えたことを人に伝えるための発表の技術、文章作成術を習得する。
- (5) 自身が専攻するコース・分野の研究方法を理解・説明できるとともに、その分野の文献を読み、論旨を説明できる。

本テキストを用いた学修を通じて、高校での歴史・地理の学びから、大学での史学の学び、そして自身の目指す研究へと、スムーズに移行できるよう設定されています。

授業紹介

史学入門Ⅰ・Ⅱ

この授業では、文学部史学科の新入生を対象として、各コース・各専門分野の特色を概説するとともに、歴史の研究に必要な基礎知識や研究方法を分かりやすく講義します。大学で学ぶ歴史学とは何か、どのような専門分野があるかを知り、史学科生としての基礎学力を身に付けてもらいます。

東洋地域史Ⅰ～Ⅳ

この授業では、アジア各地の多様な歴史を学びます。内陸アジア・東南アジア・チベット・モンゴル・イスラーム世界のほか、中国都市史・中国環境史・地方政権研究などの講義もあります。アジア史の多様性を実感してください。



考古学調査法Ⅰ・Ⅱ／考古学実習Ⅰ・Ⅱ

夏季休暇期間中におこなう遺跡の発掘調査（考古学実習Ⅰ・Ⅱ）に参加して、考古学調査の基礎知識とさまざまな技術を実習する授業です。考古学調査法Ⅰでは測量器材の使い方や調査対象遺跡について勉強し、発掘の計画と準備を進めます。考古学調査法Ⅱでは出土した遺物や記録を整理し、発掘調査報告書をまとめます。本格的な写真撮影やパソコンを使った文書・画像の制作なども修得します。



日本時代史Ⅰ・Ⅱ

古代日本に律令制国家が成立して以降、権力構造はどのように変化し、支配者層はいかに対応していったのでしょうか。この授業では、8世紀と9世紀以降に焦点をあて、古代天皇制がどのように変化していったのかについて考えていきます。高校までの暗記中心の日本史とは異なり、複数の学説を紹介しながら、史料をどのように解釈すれば合理的説明ができるのか、講義を通して考えてほしいと思います。

西洋史概論Ⅰ・Ⅱ

西洋史を通史的に理解するための授業です。そもそも「西洋」とはどこを指すか、という問題に始まって、古代ギリシアから21世紀の現代まで、およそ2500年の歴史を、古い時代から順に、時代区分に即して説明します。概論Ⅰは、西洋史を包括的に扱います。概論Ⅱでは、西洋史をグローバルな視点で捉え直しながら、近現代史を中心に解説していきます。

地域文化と景観調査法

日常生活やビジネス・シーンで多用される地理情報システムGISの基礎と、その歴史・景観研究への活用法を学びま



す。また春・秋に岩手県の学習田で農業体験を兼ねた現地調査実習を実施します。

専任教員

- 青木敬 教授
歴史考古学／古墳時代・古代の考古学
- 岩橋清美 教授
日本近世史／社会経済史、文化史、地域史
- 内川隆志 教授
博物館学／文化財保護史
- 大久保桂子 教授
イギリス近代史、西洋近世史
- 神長英輔 教授
ロシア近現代史、東北アジア近現代史
- 佐藤長門 教授
日本古代史／日本古代王権・国家論
- 澤田浩一 教授
公民科教育、道德教育、社会科教育
- 高橋秀樹 教授
日本中世史／平安～鎌倉の貴族、武家

- 谷口康浩 教授
先史考古学／縄文時代の社会構造、儀礼祭祀の考古学
- 樋口秀実 教授
中国近代史／中国近代政治史、日中関係を中心とする東アジア国際政治史
- 矢部健太郎 教授
日本中世史／政治史、公武関係史
- 山本哲也 教授
博物館学／博物館史、博物館のバリエーション・社会的包摂、博物館教育論
- 吉岡孝 教授
日本近世史／江戸幕府論・政治史・思想史
- 吉田敏弘 教授
歴史地理学、地図史／日欧の中世農村論、荘園・絵図・寺社絵図をはじめとする中世絵図研究

- 江川式部 准教授
中国中世史／祭祀儀礼制度史・文化史
- 川名禎 准教授
歴史地理学／近世都市空間の研究、流通史、地誌
- 柴田紳一 准教授
日本近現代史／近現代日本の政治・外交・軍事
- 多和田真理子 准教授
日本教育史、教育学／近代地域教育史
- 手塚雄太 准教授
日本近現代史／近現代日本の政治・経済・社会・地域史
- 山崎雅稔 准教授
日本古代史、朝鮮古代史／日朝関係史、東アジア交流史、歴史教育

専門教育科目構成

○数字：単位数

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
基幹科目	史学入門Ⅰ②・Ⅱ② 史学導入演習Ⅰ② 史学導入演習Ⅱ②	史学基礎演習Ⅰ②・Ⅱ②	史学展開演習Ⅰ②・Ⅱ② 演習・卒業論文⑧	史学応用演習Ⅰ②・Ⅱ②
コース別基幹科目	概論科目	日本史概論Ⅰ②・Ⅱ② 東洋史概論Ⅰ②・Ⅱ② 西洋史概論Ⅰ②・Ⅱ② 考古学概論Ⅰ②・Ⅱ② 地域文化と景観概論Ⅰ②・Ⅱ②		
	日本史学コース	日本時代史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②・Ⅴ②・Ⅵ②・Ⅶ②・Ⅷ②		
	外国史学コース	東洋地域史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ② 西洋地域史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②		
	考古学コース	考古学各論Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ②・Ⅴ②・Ⅵ②・Ⅶ②・Ⅷ②		
	地域文化と景観コース	地域文化各論Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ② 文化景観各論Ⅰ②・Ⅱ②		
総合科目		史料講読Ⅰ②・Ⅱ② 外書講読Ⅰ②・Ⅱ② 考古学調査法Ⅰ②・Ⅱ② 考古学実習Ⅰ①・Ⅱ① 地域・景観調査法Ⅰ②・Ⅱ② 史学専門講義②		
展開科目	地域から見た日本の歴史Ⅰ②・Ⅱ②・Ⅲ②・Ⅳ② 東アジア史Ⅰ②・Ⅱ② 江戸東京の歴史② 渋谷の歴史② 史学情報処理初級②	有職故実Ⅰ②・Ⅱ② 史学情報処理中級②・上級② 古文書学Ⅰ②・Ⅱ② 史料管理・保存論Ⅰ②・Ⅱ② 文化財行政論② 考古科学② 文化財科学② 地域文化資源論② 地域文化財資料論② 絵図古地図研究② 環境史・災害史② 日本文化史Ⅰ②・Ⅱ② 美術工芸史② 外国考古学Ⅰ②・Ⅱ② 文化人類学Ⅰ②・Ⅱ② 人文地理学② 自然地理学② 地誌学②		
関連科目	倫理学A②・B② 日本美術史A②・B② 宗教学Ⅰ②・Ⅱ② 政治学概論② 統計入門②	哲学概論A②・B② 国際政治A②・B② 社会経済学② 社会保障論② 財政の基礎② 金融の基礎② 憲法ⅠA②・ⅠB② 現代日本経済② 経営史②	社会学A②・B② 心理学A②・B②	

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

哲学科



西洋哲学思想の研究を中心に、インド・中国・日本の思想や、美と芸術をめぐる理論的考察などについて、総合的に学修します。学生諸君の知的興味に応えるべく、あらゆる事柄を考える対象にして、多様なものの見方を学びます。3年次には「哲学・倫理学」「美学・芸術学」のいずれかのコースを選びます。

〔幻燈写心競 洋行〕楊洲周延（國學院大學博物館所蔵）

哲学科 4年

仲野 日向世さん

哲学科

小池 寿子教授

対談

自身の関心に沿って 研究テーマを選ぶ自由がある

(学年は取材時のもの) (※小池寿子教授：2024年度前期末退職)

小池 哲学科には、哲学・倫理学と美学・芸術学という2つのコースがあります。哲学・倫理学の方は、5名の教員により古代ギリシアから西洋現代哲学まで、ほとんどの時代をカバーしています。美学・芸術学の方は、3名の教員によって西洋美術から東洋美術までを担当しています。

私の専門は、西洋美術史の中世キリスト教美術ですが、中でも「死の舞踏」などの絵画を中心とした死生観を読み解くことをテーマにしています。

仲野 私は商業高校の出身なのですが、簿記などの科目はあまり自分には向いていないと感じていました。そんな中で、國學院大學のオープンキャンパスを訪れ、小池先生の模擬授業を受けて、この大学に決めました。もともと美術には関心があったので、美術史を選ぶことにしました。

小池 その時の模擬授業は、ボッティチェリの「プリマヴェーラ」を取り上げたのですが、キリスト教とギリシア神話の両方の要素がある作品で、実は全国チェーンのイタリア料理店でも見ることができる作品です。学生に対しては、とにかく自分の好きなものをまず見つけ、それを楽しみながら深めていくことで、生涯の糧にしてほしいとの思いで授業に取り組んでいます。

仲野 もともと私は人の肉体構造に興味があったのですが、展覧会でルーベンスの作品に触れて、描かれた人物がすごく生き生きとしていることに感銘を受けました。卒論のテーマを「ルーベンスの身体表象～導かれる視線と裸体」としたのもそのためです。

小池 ルーベンスはとてもふくよかな裸体を描いていますが、仲野さんの選んだテーマは、私のテーマである皮と骨だけの死生観とはまさに真逆の関係になります。この大学は日本というイメージが強いかもしれませんが、そういった西洋哲学や西洋

美術史も学べるという寛容さもあるということです。

仲野 先生方の個性が豊かなこともあって、授業を通して知識を蓄えるだけでなく、自ら考察して他の知識や歴史などと結びつけ、経験として取り入れることができます。学生もキャラクターが強い人、個性のある人が多いため、授業後に学生同士で議論をすることも楽しいですね。

小池 美術、広く言えばイメージの役割や意味について、歴史を通じて学ぶことができるのが、美学・芸術学コースです。本を読むのも大事ですが、ぜひ美術館に足を運んで、本物を見るという経験の積み重ねもして欲しいですね。

仲野 歴史と伝統のある國學院大學には、魅力がたくさん詰まっています。興味の対象を広げ、掘り下げ、深めていくには最適な環境だと思います。

●哲学科を漢字一文字で表すと・・・



自

自身の関心や自分の考えに沿って研究テーマなどを選ぶことができる。



入学者受入れ方針 — アドミッション・ポリシー —

求める人材、期待される入学者像

- 東洋・西洋の哲学思想に対する学修を通して、社会に貢献できる知識と能力を有する者。
- 哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に対する強い志向性を持ち、物事の本質を見極めたいという知的探究心に基づき、論理的思考を通して洞察を深めることができる者。
- 文献を読解し、渉猟することによって、あるいは他者との対話によって様々な知に触れ、自らの考えを吟味検証することができる者。

入学者選考の観点

【AP1】現代文、英語を中心に、哲学科で学ぶ内容に対応する科目について、高等学校卒業程度の知識・技能を習得しているか。

【AP2】自分の知識・技能に基づいて、論理的に考え、自ら判断し、それを表現する能力を持っているか。

【AP3】哲学（哲学・倫理学や美学・芸術学分野）に対する志向性を持ち、主体的に学ぶ姿勢があるか。

※具体的な入試制度と観点との関連は別表のとおりです

入学までに身につけるべき教科・科目

入学までに「国語総合〔現代文〕（現代の国語・言語文化[のうち近代以降の文章]）」「コミュニケーション英語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ（英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ）」「英語表現Ⅰ・Ⅱ（論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ）」を身につけ、さらに「倫理」「現代社会（公共）」「政治経済（政治・経済）」「世界史B（世界史探究）」「日本史B（日本史探究）」「美術Ⅰ」「音楽Ⅰ」「地理A（地理総合）」「地理B（地理探究）」「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」およびそれに相当する教科を一つ以上履修していることが望めます。

入試制度	選考方法	AP1	AP2	AP3	本入学制度の狙い
A日程・B日程	個別学力試験	◎	○		高等学校で履修する科目について、高等学校卒業相当の知識を持つ学生を受け入れます。
V方式	大学入学共通テスト	◎	○		
公募制自己推薦（AO型）	調査書	◎			哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を強く持つ者を受け入れます。
	レポート	○	◎	○	
	活動レポート		○	○	
	自己推薦書		○	◎	
	課題図書に基づく小論文試験	○	◎		
系列三高校推薦	面接試験		○	◎	哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を、本学系列三高等学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	調査書	◎			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート		○	○	
	資格・検定試験の成績	◎			
協定校推薦	推薦書	○	○	○	哲学・倫理学および美学・芸術学の学問分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を、本学から依頼した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。本学と協定を結んだ高等学校（協定校）の生徒のみを対象とします。
	調査書	○			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート		○	○	
	資格・検定試験の成績	◎			
指定校制推薦	推薦書	○	○	○	哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を、本学が指定した高等学校または中等教育学校の学校長の推薦に基づいて受け入れます。
	調査書	○			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート		○	○	
	資格・検定試験の成績	◎			
院友子弟等特別選考	推薦書	○	○	○	哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ全国の院友（本学卒業生等）子弟等を受け入れます。
	調査書	◎			
	志望理由書		○	◎	
	活動レポート		○	○	
	課題図書に基づくレポート	○	◎		
社会人特別選考	課題図書に基づく小論文試験	◎	○		哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
	面接試験		○	◎	
	志望理由書		○	◎	
	自己推薦書		○	◎	
	レポート	○	◎	○	
学士・一般編入学	小論文試験	○	◎		哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	
	志望理由書		○	◎	
外国人留学生	日本語小論文	○	◎		外国籍であり、日本留学試験で所定の成績を修め、かつ哲学・倫理学および美学・芸術学の学門分野に興味・関心を持ち、学ぶ意欲を持つ者を受け入れます。
	面接試験	○	○	◎	

卒業認定・学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）・教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）は大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。

学科の特色 — 自分の資質や関心に応じて二つのコースを自在に行き来する

「世界は本当に私に見えているような世界なのか」「時間に始まりや終わりはあるのか」「死はどんな場合にも悪いことか」「歴史は進歩のプロセスか」「科学と疑似科学の違いは何か」「美しいものは誰にとっても美しいのか」「芸術と芸術でないものの違いはどこにあるのか」——これらはいずれも哲学が久しく取り組んできた問いです。答えは今も出ていません。でも、諦めずに今なお問われ続けているのは、これらの問いが、いつの時代の人にとっても放っておけない切実な関心事であるからに違いありません。そこから、現在の問題と取り組むものでありながら歴史に問い尋ねることに大きな意味があるという、哲学の不思議な、面白い特徴が生まれます。

國學院大學の哲学科の特色は、二つあります。

一つは、**哲学・倫理学コース**と**美学・芸術学コース**の二つのコースからなっている（学生は3年次にコースを選択する）ことです。文学部に属してはいますが、哲学は、文系・理系・芸術系**すべての人の関心をカバー**できると称する**欲張った学問**です。他大学では哲学科・倫理学科・科学哲学科・美学科・美術史学科などに分かれて勉強することを、学科の区別から自由に、総合的に学べる場——それが、國學院大學哲学科の特色です。なお、哲学・倫理学コースと美学・芸術学コースのどちらかを選択するということは、どちらか一方しか学ぶことができないことを意味するものではありません。

もう一つの特色は、現代の問題に歴史に目配りしつつ取り組むことをめざす、**歴史と現代の絶妙なバランス**にあります。**哲学・倫理学コース**では、三人の教員がそれぞれ英米・独・仏をフィールドとして近・現代の哲学を講じる一方で、古代ギリシア哲学とインド哲学を専門とする二人の教員が哲学の始まりにまで遠く歴史を遡る思索を繰り広げます。ですから、ギリシア語、ラテン語、サンスクリット語といった古典語も学ぶことができます。

美学・芸術学コースでは、美しさについて理論的に考察しつつ現代芸術の新たな動向を、ジャンルを問わず旺盛な関心をもってフォローすることができると同時に、西洋・東洋の美術の歴史に学び、美の歴史的宝庫に深く沈潜する研究が可能です。



授業紹介

基礎演習 I A・B

1年生のための哲学の導入科目で、さまざまなテーマで開講されています。例えば、福沢諭吉の『学問のすゝめ』を教材にして、幕末維新に日本の大変革を担った人が、西洋から何を吸収定着しようとしたのか、そのスリリングな辛苦に密着するとともに、西洋の言語を日本語に置き換える感性和理性のありさまをじっくりと考究する授業があります。

日本美術史 A・B

海外でも評価の高い日本の美術、その魅力はいったいどこにあるのでしょうか。この講義は、日本の美術や伝統文化に興味を持ち、それらを「見たい・知りたい・楽しみたい！」と感じる受講生に向けた授業です。「浮世絵とメディア」「アニメーションや漫画の源流」「美術と国際交流」「展覧会の現在」などの身近な観点から、その特質に迫ります。授業の前半はテキストやレジュメを用いた基礎学習、後半はパワーポイント等のビジュアル機器を活用した応用学習になります。簡単な工作も交えて体感的に学びますので、一緒に日本美術の豊かな世界を楽しみましょう。



西洋美術史 A・B

「西洋美術史」では、ルネサンス以降、第一次世界大戦以前までのヨーロッパ美術の流れを学びます。15世紀から20世紀初めにかけてのこの期間に、西洋美術は中世キリスト教美術から大きく展開し、人間と現実をいかに表現するかという大きな課題に挑んできました。500年間におよぶ美術の歩みを、作品のみならずそれを生み出した社会・思想・文化的背景をも考えながら辿ります。毎時、多くの作品や文献資料を用いるので、その中から今日の芸術につながる表現やテーマを見つけましょう。時代によって美術は表現方法やテーマを変えてゆきますが、そこには「造形表現とは何か」「人間は芸術に何を託すのか」という普遍的な問いかけが潜んでいます。デジタル化が進んだ今日、イメージは人間社会に多様な働きかけします。イメージと人間との関わりも学んでゆきましょう。

倫理学 A・B

「良い」「悪い」という性質について、しつこく考えます。例えば、「善い人の人生は「よい人生」か?」「死は「悪い」ことか?」。さらに、「すべての人がすべての人を愛すべきか?」「男は強く、女は優しくあるべきか?」「自由と理性は対立するか?」「「できる」こと、「したい」こと、「すべき」ことの関係はどうなっているのか?」「「アイデンティティ」ってよいものか?」「日本人は不幸な国民か?」という具合に、問いはぞろぞろ出てきて、考えだすと止まらなくなります。

哲学概論 A・B

哲学概論 A・B では、存在とは? 自由とは? 時間とは? 知識とは? 心とは? 言語とは? などのさまざまな哲学的問題について考えます。哲学者や哲学の歴史ではなく、あくまでも問題を中心に置いてさまざまな議論を概観しつつ、答えを探していきます。



西洋哲学史 I A・B

古代ギリシアにおける愛智（ピロソ피아）の精神、および中世キリスト教哲学へと結び付くその思想史的展開を学びます。西洋の豊かな知の源流へと遡り、「存在」への問いを共有するところからあなた自身の哲学の探求が始まります。また西洋思想を理解する上では欠かせない神の概念についても丁寧に読み解いていきます。

応用倫理学 A・B

単なる区別と差別の違いは何なのか? 寄付をしないことは悪いことなのか? — 性差別や性的マイノリティへの差別、出生前診断や死刑の是非、報道倫理や貧困・難民問題などについて、流布している誤解をうのみにせず、反対意見を理解しながらとことん「自分の頭で考える」ことを目指します。

専任教員

- 金杉武司 教授
西洋現代哲学・分析哲学（現代英米哲学）／心の哲学・メタ倫理学
- 木原志乃 教授
西洋古代哲学／古代ギリシャ医学思想史
- 小池寿子 教授（※ 2024年度前期期末退職）
西洋美術史／キリスト教中世美術／死生観

- 藤澤紫 教授
日本美術史／江戸文化論／比較芸術学
- 藤野寛 教授
西洋近現代哲学、倫理学／ドイツ現代思想
- 岡本源太 教授
美学／西洋ルネサンス思想／現代思想

- 小手川正二郎 教授
西洋近現代哲学／現象学
- 渡辺俊和 准教授
インド哲学／仏教認識論・論理学

専門教育科目構成

○数字：単位数

	1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
基礎科目	演習・卒業論文 基礎演習ⅠA②・ⅠB②	基礎演習ⅡA②・ⅡB②	哲学演習④ 美学・芸術学演習④ 卒業論文⑧	
	西洋哲学史ⅠA②・ⅠB②			
	倫理学A②・B② 論理学A②・B② 芸術学A②・B②			
		哲学概論A②・B② 美学A②・B② 日本哲学A②・B②		
哲学・倫理学系科目	西洋哲学史ⅡA②・ⅡB② 日本思想史A②・B② 中国思想史A②・B②			
		インド思想史A②・B②		
			哲学特殊講義ⅠA②・ⅠB②・ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB②・ⅣA②・ⅣB②	
美学・芸術学系科目	日本美術史A②・B② 東洋美術史A②・B②			
		西洋美術史A②・B②		
			美学・芸術学特殊講義ⅠA②・ⅠB②・ⅡA②・ⅡB②・ⅢA②・ⅢB②	
展開科目	ギリシャ語Ⅰ②・Ⅱ② ラテン語Ⅰ②・Ⅱ② サンスクリット語Ⅰ②・Ⅱ②	ギリシャ語Ⅲ②・Ⅳ② ラテン語Ⅲ②・Ⅳ② サンスクリット語Ⅲ②・Ⅳ② 科学哲学A②・B②	応用倫理学A②・B② 現代哲学A②・B② 宗教哲学A②・B② キリスト教概論A②・B② 仏教概論A②・B②	
			言語論A②・B② 比較思想A②・B② 比較芸術学A②・B②	
関連科目	日本史概論Ⅰ② 東洋史概論Ⅰ② 西洋史概論Ⅰ② 宗教学Ⅰ②・Ⅱ②	人文地理学② 自然地理学② 地誌学② 憲法ⅠA②・ⅠB② 国際法の基礎② 国際政治A②・B② 国際経済② 社会保障論② 社会経済学② 公共部門と財政②	心理学A②・B② 国際紛争処理法② 政治学概論② 社会学A②・B②	

講義内容詳細「シラバス」と要卒単位数などカリキュラム詳細「履修要綱」を大学ホームページに掲載しております。大学ホームページにてご確認ください。



史学科4年
上野 葉奈さん

日本文学科4年
高橋 楓さん

哲学科3年
五十嵐 優星さん

中国文学科4年
牧口 瑠那さん

外国語文化学科4年
野澤 友香さん

(学年は取材時のもの)

Q1 國學院大學文学部の魅力を受験生に伝えるために、各学科を代表して皆さんに集ってもらいました。これから座談会を始めたいと思いますが、まずは簡単な自己紹介と、所属する学科をなぜ選んだのか教えてください。

五十嵐 哲学科3年の五十嵐優星です。

哲学科を選んだのは、あまりメジャーな学部だと、何か自分のアイデンティティになりづらいかなと思い、メジャーな学部を消去法で潰してって最後に残ったのが、哲学科だったというのが正直なところですよ。(笑)

哲学ってというと、何か難しいことをやるんだろうなと思ってたんですが、その難しいことに取り組むことで、大学で得られるべき何か、「知識」とか「力」みたいなものが身につくんじゃないかなって思いがあって、最後は選んだということですよ。



野澤 外国語文化学科4年の野澤友香です。

私が外国語文化を選んだ理由は、高校時代から英語には興味があったんですが、クラシックバレエを習っていたこともあって、バレエの「動き」や「技」の名前にフランス語が使われているため、それも学んでみたいという思いがあり、

自然に外国語文化学科を志望するようになったと記憶しています。

牧口 中国文学科4年の牧口瑠那です。

私が中国文学科を志望した理由は2点あります。1点目は、もともと「漢字」の成り立ちに興味があったからです。2点目は、私自身いろんな方と話をしたり交流したりすることが好きで、これから自分がいろんな人と交流するために何が必要なのかなと思ったときに、相手の文化だったり考えを理解した上で交流することが大事なんじゃないかなと。私が進路を考えていた時期に中国から来日する方が増えているという印象があったため、少しでも多くの人と交流するための第一歩として、中国文学科で学ぼうかなと思ったからです。

上野 史学科4年の上野葉奈です。

史学科を選んだ理由は、実はあまり前向きな理由じゃなかったんです。もともとは心理学部を目指していたんですが、志望校に行くことができないというなかで、國學院大學のオープンキャンパスに来た時に、都会の洗練されたキャンパスライフがいいなと思って選んだということです。

それとともに史学科を選んだ理由としては、受験勉強をする中で世界史がすごく面白くなって思ったということと、ミュージカルが好きだったんですが、世界史のフランスとかロシアとかそういったことを題材にしているものが多かったんで、何か歴史として学べたらいいなと思って選びました。

あと、高校時代の先輩が史学科に通われていて、良い評判を聞いていたというのもあります。

高橋 日本文学科4年の高橋楓です。

僕が日本文学科を選んだのは、まず、高校時代に和歌の詠み方を習ったときに、たった31文字で表現される世界の奥深さというのを知って、そこから日本文学に惹かれていったというのがあります。

國學院大學は万葉集とか古事記の研究が進んでいるということと、源氏物語の研究も最先端をいっているの、和歌を研究するには物凄い環境だなと思って。それで古典やるならここだろうと思い日本文学科に決めました。

Q2 では次に、それぞれの学科で学んできたことやその中で関心を持ったテーマ、4年生の人は卒業論文のテーマについても教えてください。

五十嵐 今、関心があるのはジェンダー論です。

ジェンダー論の授業を受けたときに、僕の知らなかったところで「こういったことが論じられてるんだ」と衝撃を受けたからです。それまで自分が知らなかった「男らしさ」とか「女らしさ」とかいう規範に、どれだけ自分が関わっているのかということと、自分がその「男らしさ」を追求することで、どれだけ差別的な構造に組みしてしまうのかといった考え方が、自分自身の今後の生活にとっても大事となると強く感じてこのテーマを選びました。

野澤 4年間で学んできたことは、語学が大きくて、やっぱり英語の授業が一番多かったですね。その次に多かったのはフランス語の授業で、これは3年生までずっとやっていました。他に興味があったものとして「英米語概論」という授業があり、母国語というのは自然に喋れるようになっていくけどなぜ喋れるようになるのかとか、そういうことを教えていただいたのですが、すごくハードだったけれど面白かったなと思っています。卒論のテーマは「ヨコ文字に囚われたジャパニーズ」っていう、少し尖った題目にしました。私が入学した年はコロナでたくさんの横文字が飛び交っていて、ニュースとかでもソーシャルディスタンスとかクラスターとか、そういうふうな横文字を使っている人が多かったんですね。でも、本当にその意味を理解して使っているのかなと。私も外国語を勉強しているので、英語のこの意味と和製英語で使われてる意味って違うなと思ったりして、「ちょっとかつこつけてんじゃないの」っていう、そういった皮肉も込めた論文を作ろうかなと思って書きました。和製英語はあくまで和製英語であって、英語じゃないのにそういうふうに使われてるのに興味があったということです。

牧口 中国文学科は、中国文学を通して様々な視点やジャンルから、いろんなことを学べる学科です。

私の卒業論文は、「晏子（あんし）春秋」という書物を中心に書きました。そこに登場する晏子という人は、背が小さくて馬鹿にされがちな人だったんですが、その人の立ち回りとか、まわりの評価が高かったことを授業で知り、面白いなと思ったからです。人は人を、見た目だったり、普段の何気ない様子から「この人はこういう人だ」と決めつけがち傾向が多いと思うんです。それは結局「軽視」なのではないかと思い、テーマを「晏子を取り巻く『軽視』とその打開について」にしました。

上野 私が4年間で学んだことは二つあって、一つ目は、科学的な観点から物ごとを見るということと、二つ目が論理的思考能力と知的探究心です。抽象的で申し訳ないんですが、一つ目に関しては、教科書で学ぶ歴史って通説があってそれを暗記し

て学ぶことが多いと思うんですけど、大学で学ぶ歴史学というのは正解もないし、いろんな角度から歴史を見つめることが必要になるということを感じたというのがあります。

二つ目ですが、史学科は自分でテーマを決め、それに向かってレポートやレジュメを1人で作るということが多いんですが、それらを論

理的に思考して論理的に文章を組み立てて人に伝えるっていうことが必要になるからです。それに加えて、私の取っていたプログラムが、結構いろんな学科、学部の授業を選べたっていうこともあって、知的探究心がすごく刺激されたなと思ったからです。

卒論のテーマは、「アイルランド大飢饉の記憶」です。このテーマにしたのは、ある時に「これいいな」って直感的に思ったからです。「記憶」というのは歴史学でも結構新しい研究分野ですが、大飢饉があった1845年あたりから現在にかけて、どのように人々が想起して記憶して伝えていったかということ具体的に定めていくという内容にしました。

高橋 卒論のテーマは「海辺の歌語に持たされた心」です。時代的には、700年ぐらいから源氏物語が書かれた1000年ぐらいの歌を中心に、「海人（あま）」など海辺の歌語がどのように変化したかを比較しました。万葉集では、旅先で良いものを見つけたからお土産に持って帰ろうみたいに、結構プラスな感情で詠まれることが多かったんですね。それが古今集以降になると、恋人にふられたとか、そういう感情がどんどん変わっていったマイナสบっかりな内容になるんですが、そういった時代の流れの変化について卒論で書きました。

4年間で学んだことは、まず、言葉について研究し、言葉の深さとか二面性というものを学びました。これは、僕の卒論の指導教員の先生に教わった「言葉によって世界を認識している」というソシュールという人の考えなんですが、我々には「肩こり」ってあるんですが、外国人はならないんですね。

一同 ヘー。。

高橋 なぜかという「肩こり」っていう言葉が外国にはないからです。この辺つらいなっていう認識はあっても、ただつらいだけ。でも、外国人が日本に来て「肩こり」っていう言葉を知ると、そこから「肩こりがひどいな」っていうふうに認識し始めるというのがあります。ですから、言葉の何たるかを知り、言葉の裏の意味とか流れとかっていうものを知ると、いろんなことが見えるようになってくるということです。



それから、間違った言葉というものはいっぱいあると思うんですが、そういうものに対して、たくさんの資料とかを見て、そのことが合っているかどうか調べるということを学んだのが、自分の中でも役立っていると思います。

Q3 次は、自分が成長できたと思うことについて教えてください。



五十嵐 まず、大学に入る前より、確実に哲学に関するワードや概念みたいな知識は増えていきますね。

成長できたと思うのは、哲学の文章ってイメージ通りにめっちゃ難しいんですね。以前は、最初に読んだ後にもう1回読んでみて、わからなかったら諦めるみたいなことだったんですが、今は、難しい文章に対して1

～2回読んでわからなくても、何回も何回も読んで頑張って理解できるようになってきているので、そういう挑み続ける精神というか、諦めない力がついたように思います。

野澤 私は高校までは英語しか学習してこなかったんですが、フランス語と英語を平行して学習することで、例えば両方の文法が似ているため「フランス語のこの文法は英語をこれと同じなんだ」とか、そういうところで英語力と一緒に自分の学力が上がってきたなと感じています。

TOEICに関しても、まわりに一緒に受ける人もいたため、私も頑張ろうという気持ちは格段に上がりましたし、他には、フランスは元々その植民地になっていたところが多いためにいろいろな肌の人がいるし、そういう背景やヨーロッパの文化と一緒に学ぶことができたため、語学と一緒にその語学が話されている国についても知ることができたというのがありますね。

牧口 私が4年間を通して成長したことは、学力的な面はもちろんあるんですが、それだけでなく大きく成長したなって思

うことが2点あります。

1点目は、中国文学を通していろんなジャンルを学ぶんですが、多角的な視点だったり漢字1字を読むだけでも意味を調べたりするので、裏付けが大事になることが多く、その裏付けに基づいて、その自分の意見をしっかり述べる。自分にとって何が最適解なのかを考えて、自分の意見を述べるができるようになったことです。

2点目としては、小さなことでも「なぜなのか？」っていうのを大事にするようになったことです。漢字の意味一つでもいろんな意味がある中で、「何でこの漢字はこの意味なのか」とか、「この人はなんでこの行動をとったのかな」ということを調べていく中で、その「なぜ」を追求すると、歴史的な背景があったり、その人の心情だったり、文字に隠されている書いた人の思いだったりを学ぶことが出来るようになります。この点については、日頃の生活を送る上でも身についたなと思っています。

上野 私は、幅広い視野で考えられるようになったということがあります。例えばニュースを見ていても「それって真実なの？」と思ったり、自分のキャリアプランの中で「こういうことに挑戦してみようかな？」という気持ちが生まれやすくなる、といったことです。

とても自由に学ばせてもらえる環境だったので、気持ちの面でもそういった変化が生まれたんだと思います。

高橋 僕の場合は、精神的な成長もありましたけれど、何かを主張をするにあたって、必ず根拠やデータが必要だというような考え方、そういう基本的なところを身につけられたと思います。あと、これは指導教員の先生と大笑いしたんですけど、古語に触れすぎて、普通にレポートを書いている中に古語が入っちゃうんですね。言葉には「理解語彙」と「使用語彙」という2種類があって、「理解語彙」は知ってるだけで「使用語彙」は使えるようになる。英語とかフランス語もそうですし、古文や漢文とかもそうだと思うんですけど、言葉って知っていても使えないことってあるじゃないですか。そこに結構大きな壁があって、それが使えるようになるというのは、1個の言葉を自



分の中で習得できたってということで、自分の中で成長を感じたところですよ。それとともに、和歌や古典を学んできて、その中にある精神とかも結局は日本人で変わってないところが多くある、日常生活を生きる中でも「雅（みやび）」とか「風流」とかを感じられるようになったのが、一歩成長した証かなと思っています。

Q4 そのようにして学んだことを、将来どう生かしてきたいか、将来像のようなものがあれば教えてください。

五十嵐 哲学のテキストを読むときの一般的なイメージは、何か批判的に読んでいくっていうイメージがあると思うんですけど、実際にはその筆者の立場をしっかりと理解することと、その立場に立って筆者が言いたいことは何かっていうのを考えていくことが重要なんです。

そう考えたときに、今後は、相手の立場に立って、相手がどういうふうを考えてるのが理解できる、そういう人間になっていきたいと思っています。ですから、そういう方向の仕事、ホスピタリティのある介護などの業種や職種に就きたいなと思っています。

野澤 私は、学んできた語学を生かせる仕事がしたいなと思っていたことと、コミュニケーションを取ることが好きなため、自分の語学を生かしながら日本国内だけでなく外国籍の方ともお話ができる仕事に就きたいと思い、客室乗務職に応募し内定をいただきました。国内線ではあるんですけども、インバウンドの需要が戻ってきているので、その中で様々なバックグラウンドを持っているお客様と、自分が学んできた語学や文化の知識を生かしながら最前線で活躍したいなと思っています。

牧口 私は、小さな子供たちの体育教育を斡旋する企業の一般事務で内定をいただきました。

「中国文学科なのに、なんでそれなの?」「何を目指してるの?」といろんな人から言われますが、その企業では事務職の仕事以外にも、広報の活動だったり財務や人事などの様々な経験ができる仕事も行います。

靴とかの販売なども行っているため、私が4年間で学んだ多角的な視点だったり、「なぜこれが大事なのか」という疑問を

大事にした上で、小さな子供たちの将来が豊かになるために「自分に何ができるのか」を考えて仕事に向き合い、頑張っていきたいなと思っています。

上野 私の場合は少し特殊なのかもしれませんが、公認会計士試験に合格したため、就職先は監査法人という監査業務をする企業になりました。史学科で、「何

で公認会計士なの?」とよく言われるんですけど、大学1年生のときから大学のプログラムで簿記を勉強してまして、その中で会計という分野に興味を持ったためです。史学科の勉強と両立しつつ、会計の勉強も頑張って、その道を選びました。

会計士って、基準にないような会計処理を監査チームで考えたりとかもするため、そういったところで論理的な思考能力が求められるっていうのもありますし、公認会計士は監査業務だけでなく、アドバイザーとかコンサルティングとか税務とか社外役員とか、そういったこともできるんですね。ですから、そこに史学科で学んだこととの繋がりががあると思うんですが、探求心や好奇心を持っていろんなことに挑戦できるかなと思い、成長していきたいと思っています。

高橋 言葉が好きだったということもあり、最初は出版社や新聞社といったところに行きたいなと思って就活をしていたんですが、説明会とかに行っても「どうも自分がやりたいことと違うな、合わないな」と思い、最終的には国家公務員で、防衛省に入ることを決めました。

文学科でやってきたことと繋がりはないんですが、大学で一歩成長できたのが「分析力」だと思いますので、そういったことが役に立つのではないかと。いろんな情報が集まってくる中で、自分がその言葉というもので培った分析力や比較といったところで自分の力を出せるかなと思い、就職先に決めました。公務



員の勉強をしていたこともあるんですが、それよりも自分のやりたいことがあったからそっちに進んだっていう感じです。

Q5 最後にになりますが、皆さんの学科の良いところをアピールしてください。また國學院大學の良いところも教えてください。

高橋 高校生がイメージする大学って、ワイワイして賑やかなところっていうのがあると思うんですが、それを逆にネガティブに感じてしまう人もいます。「もうちょっとちゃんと勉強したいな」といったこととかですが、國學院大學はそういう人の望みにかなうような、ちゃんと真面目で誠実な学校生活を送れるような大学だと思います。

哲学って高校まではあまり触れることがないし、授業もあまりないので、もし哲学に興味を持ったとしても、まわりに話す相手がいないと思うんですね。そもそも哲学好きな人があまりいないから。でも哲学科に入ると、他の人があまり興味を持たないようなことを、いろんな人がいろんな分野で興味を持っていて、それについて話をするので、それが哲学科の良いところかなって思います。哲学の中でも存在論とか認識論とか、倫理学とかの分野があって、それらが繋がっていくときにそういった知識が役に立つし、他の分野の人とコミュニケーションを取れるっていうのは自分の興味や自分の分野を成長させ、他への興味も持てるようになるので、とても良いことなんじゃないかなと思います。

野澤 國學院大學の良いところとして私が感じたものは、高校生の方に直接響くかわかりませんが、とても大事なことだと思うのでお伝えするんですが、就職の支援がすごく整っているということです。私の場合、エアライン業界とホテル業界を目指していたんですが、例えばエアライン業界の支援の講座とかがあったり、キャリアサポート課の人がものすごく親身になって話を聞いてくださったり、私も今やっているんですが、内定者アドバイザーの方と話ができたという事です。ですから、4年間で学んだことを最大限生かすためのサポートとか、助けをしてくれるのはすごく魅力的だなと感じています。

外国語文化学科の良いところは、面白い先生方がいるということです。日本人の先生だけじゃなくて、外国籍の先生もいらっしやる中で、言語オタクの先生とかも多いんですね。授業のときに自分が好きなことをすごく熱心に講義してくれるんですが、でも研究室に遊びに行ったらプライベートとかの話をする、言語オタクだと思っていた先生も、私と同じ意見で「ちゃんと生きている人間なんだ」なって。

一同 (笑)

野澤 あと外国籍の先生の場合、クリスマスのときやハロウィンの時にお菓子を食べなさいって持ってきたり、そういうイベントごとに、ちょっとした盛り上がりみたいなのがネイティブの先生の授業であったりするので、そういうところも魅力のひとつかなと感じています。

牧口 大学の魅力も学科の魅力も、本当にいっぱいありすぎて困っているんですが、私自身の中でこれが一番だなんて感じている大学の魅力としては、「いろんなことを経験できる」ということです。例えば授業でも、「國學院の学び」というのがあります。この大学ならではの日本の伝統についての講義で、実践的なものも多く、伝統的なものに触れられる機会があります。授業の他にもいろんなイベントがあって、例えばあるイベントでは、中国文学科の出し物として、中国の伝統的な古いのお手伝いをしました。今私は、オープンキャンパスの企画運営の学生アドバイザーという団体に所属しているんですが、そういういろんなことを経験できるっていうのが大きな魅力だと思っています。

学科の魅力としては、自分自身が一番成長できる環境があることだと思っています。もちろん学問的な成長もあるんですけど、周囲の学生には「中国文学の中で、この人物が好きなんです」という人や「こういう書物に興味があって入ってきたんです」という人もいますし、教えてください先生方も、ときに厳しくときに優しく見守ってくださるので、とても良かったなと思います。中国文学科は、他の学科より人数が少ないこと



國學院大學での生活は、研究にも、友にも、街にもさまざまな刺激であふれていますので、きっとあなたの成長につながるはずです。



さまざまな選択肢の中から、自分のなりたい将来像を決めることができる環境が整っています。充実した大学生活を過ごしてください。



文学部で学んだ日本文化を、外国語文化学科で身につけた語学スキルを使って、世界に発信したくなる—そんな学部・学科です。

もあり、その分先生とも、学生同士でも、とても密接に交流できるといのが一番の魅力だと思います。

上野 大学の魅力と学科の魅力が重なっちゃう部分があるんですが、一番の魅力としては、選択肢が多くていろんな分野の授業が取れることです。履修登録の際も、全学オープン科目というのがあって、私であれば史学科や哲学科、経済学や人間科学とかも取れましたし、自分の可能性を狭めない自由さというか、そういった環境がすごく良いのかなと思っています。だからこそ私も、会計士という道を選ぶことができたと思いますので。あと、五十嵐さんが言っていたように、すごく真面目な人が多くて、他の大学では「先生の話聞かない」とか、「授業に集中できない」とか、といった話も聞くんですが、國學院大學ではそういったことがなく、本当にちゃんと勉強したい人はできるし、好きなことやりたい人はできるという環境がすごくあるのかなと思っています。

どんな人であっても、自分の求める形で大学生活を送ることができる。進路についても、史学科であれば、教員志望とか学芸員志望とかの人が私のまわりにも多かったんですけど、そういった選択肢が広がることで、選べることもあるのかなと思っています。

高橋 日本文学というのは、年代で言うと上代・中古・中世・近世・近代と別れているんですが、どれもどこかで繋がっているんですね。日本文学科の学生は人数が多いので、必ずどこかの年代をやっている人がどこかにいます。ですので、この学科の良いところとしては、例えば上代をやっている僕が、中古や中世などをやっている人たちに「どういうふうな言葉を使っているのか」というようなことを聞くことができるんです。さらに、中国文学科など他の学科からも聞けるということもあって、いろんなところからいろんな情報を集めることができることが、一番すごいところかなと思います。さらに、全年代をカバーしていることで、やりたいことについて深くやっていけるような体制が整っているため、日本文学についてやりた

いことがあれば、「ぜひ、ここに来れば！」って勧めたいと思います。

さっき五十嵐さんが言ったように、学生も真面目な人が多いですね。ただ、真面目と言っても変わってる人が多いんですが、そういった同じ志を持つてる人や熱量を持つてる人に会えるというのが、國學院大學の特徴かなって思います。

あと、キャンパスが渋谷にあるので、本当に良い刺激があると思っています。僕も今メイクをしていますけど、LGBTとは全然関係なく単に趣味としてメイクをしているんですが、メイクしてる人って渋谷あたりには結構いっぱいいるんですね。そういうふうに、真面目なことをやりながら、いろんな刺激をさらに受けられるっていうところが、國學院大學の良いところだと思います。

Q6 今、渋谷というこの場所が良いっていう話が出たんですが、ほかの皆さんどう思っていますか。

五十嵐 JRや地下鉄があるので、どこからでも来やすいっていうのはありますね。でも、渋谷駅の逆側とくらべて、あまり渋谷っぽくない場所にあるので（笑）、一般的な渋谷の良さみたいなものをあまり感じたことがなかったですね。

上野 私は渋谷にあつてよかったなって思っています。すごく洗練されたキャンパスだから、モチベーションや学習意欲も上がるとは思いますし、図書館とか研究室とかも綺麗でし、いいなって思いますね。

野澤 表参道駅も渋谷からと同じくらいの距離なので、私は表参道から来て帰ることが多いんですけど、そういった点でもいいと思いますね。渋谷とは違う街の雰囲気がいっぱいありますし。

牧口 先ほども出ていたんですが、施設が良いということですね。図書館にはすごいいろんな本があるので、研究するには本当にたまらないです。さらに渋谷という場所は、他のいろんな図書館へのアクセスも良いですね。

あと、授業終わりに友人とスイーツを食べに行こうと思ったときに、いろんなカフェがあったりと、楽しめる部分も多いので、学びと遊びの両面からもすごくいい場所だなと思います。

高橋 メトロの恵比寿駅からも結構近いんですね。渋谷のイメージにとらわれて渋谷から通学すると、横浜方面から日比谷線の恵比寿駅を使って通学っていうコースを思いつかないんですが、実はそういう便利な場所でもあるってということですね。

Q7 これで座談会は終了しますが、皆さんリラックスして話してもらえて良かったです。私も、学生の皆さんが「こういう風に考えていたんだな」とか、「皆、向上しようとしているんだな」といったことがわかり、参考になりました。教員の立場から見えないこともあるので、とても勉強になりました。ありがとうございました。

一同 ありがとうございました。

（聞き手 中国文学科 牧野格子 准教授）



伝統的なことに触れられる講義や行事、多角的な視点を養うことのできる活動も多いため、貴重な4年間を過ごすことができます。



授業に真面目に取り組んでいる人が多く、関心を持ったことを友達と議論したいと思っている人に、文学部はとても良い学部です。

國學院大學文学部は今日まで多くの人材を教育界に送り出してきました。本学の教職課程は教育職員免許状の取得をめざす学生を対象とする資格課程であると同時に、現代の学校や社会のかかえるさまざまな教育問題に主体的に取り組むことのできる個性豊かな人間の育成をはかるための教育を行っています。

◆ 教職課程とは

日本の現在の教員養成は、教員養成系大学・学部とそれ以外の一般大学における教職課程の二本立てで行われています。後者は、教員養成に特化した機関ではなく、広く大学教育全体の中に教員養成を位置づけるシステム（「開放制教員養成制度」と呼ばれる）であり、本学は、長年、このシステムによって多くの教員を輩出してきました。

◆ 取得できる教員免許状の種類及び教科

本学では、中学校・高等学校・幼稚園・小学校及び特別支援学校教諭の一種免許状が取得できます。文学部で取得できる「基礎免許」の種類及び教科は、学科ごとに下表に示すとおりですが、所定の条件を満たすことにより、下表の「副免許」や「異なる学校種の副免許」特別支援学校教諭免許を取得することも可能です。

適用される教育職員免許法の条項により、必要となる科目区分や単位数は異なります。

▶ 免許の種類

学科			日本文学科	中国文学科	外国語 文化学科	史学科	哲学科
中学校教諭	1種	国語	●	●			
		英語	□	□	●	□	□
		社会	□	□	□	●	●
		保健体育	□	□	□	□	□
高等学校教諭	1種	国語	●	●			
		書道	○	□			
		英語	□	□	●	□	□
		地理歴史	□	□	□	●	□
		公民	□	□	□	□	●
		保健体育	□	□	□	□	□

●：基礎免許① ○：基礎免許② □：副免許

※令和6年度現在

▶ 教職課程単位修得者数（令和4年度）

学科			日本文学科	中国文学科	外国語 文化学科	史学科	哲学科
中学校教諭	1種	国語	64	9	—	—	—
		英語	0	0	0	0	0
		社会	0	0	0	48	1
高等学校教諭	1種	国語	67	11	—	—	—
		書道	5	1	—	—	—
		英語	0	0	2	0	0
		地理歴史	0	0	0	54	3
		公民	0	0	0	39	5



青野 直仁 さん 宮城県私立中学高等学校教諭（国語科）

日本文学科 平成15年卒業

（今は）意味がない、関係ない、場合によっては（入試で）使わないというバイアスに凝り固まってしまった生徒でも、何かのはずみで今見えている範囲の「外側」に触れると、途端に生き生きとした反応を示します。そんなふうに、現状を「変形」させたり「飛躍」させたりすることを喚起し、「考える」ことができる授業を目指しています。そのためには、当たり前ですが我々の側に、小手先ではない揺るぎない準備が必要です。そして何よりも、我々自身が心底学びを楽しんでいることが必須だと考えています。

教壇に立ち始めてからだいぶ時間が経ち、少しは周りを見る余裕が出てきた今だからこそ、教師としての私の下地は大半が國學院大學で培われたのだと改めて実感しています。もちろん、この実感と当時の経験も余すところなく生徒に伝えています。



河野 佳代子 さん 埼玉県立高等学校教諭（芸術科 書道）

日本文学科 平成25年卒業

私は現在、高等学校芸術科の書道の教員として公立高校に勤務しています。現在は2年次担任、書道部顧問として、生徒たちと共にとても濃い日々を送っています。

大学時代は、書道研究会に所属し、先生方の熱心な御指導の下、主に仮名古筆を中心に、臨書をしたりそれを活かして和歌を做書したりと、何事も楽しみながら書に取り組んでいました。いざ教壇に立つと「書は上手下手で決まるのでは？」「自分にはできないのでは？」など、書に抵抗感を覚える生徒が多いのが現状です。だからこそ、生徒に書を教える立場となった今、いつも念頭においていることが書を楽しむということです。生徒に、書を通して、できるという発見や喜び、楽しさを感じてほしいと思っています。好きなことを仕事にできている喜びを感じながら教材研究に取り組み、自分

自身も向上できるように努めています。大学での出会いや経験、そして書を通して培った継続力や忍耐力は今の私の大きな支えです。卒業後も心強い繋がりを持つことができ大変嬉しく思っています。



河野 貴彦 さん 東京都私立中学高等学校教諭（国語科）

中国文学科 平成29年卒業

授業であれ学級運営であれ、私が大切にしているのは、生徒の声に耳を傾け、生徒の小さな変化を見逃さないことです。これは教員をしていた祖母の教えでもあります。生徒の様子をよく観察し、例えば、いつもとは異なる暗い顔をしていたら声をかけるだけでなく、日々頑張っている生徒を称えることも欠かさない。こうした気づきや働きかけが大切だと考えます。

生徒は教員のことをよく見ています。「あの教員いい加減だな」と思われたら最後、生徒の心は離れてしまいます。本気で接すれば、生徒もついて来てくれます。多忙を理由に生徒のことを後回しにして自分のことを優先しがちになってしまうからこそ、この教えを忘れないようにしています。

仕事をする中で不安になることもあるかと思います。その際、独りで悩まないことです。幸い國學院大學の教職課程では志を同じくする多くの仲間と出会えます。情報を交換し合い、助け合うことが肝要です。

教職が学生たちから敬遠される昨今、「若い私たちが、今、ここで踏ん張らねば」と思う日々です。教職を志す皆さん、是非とも私たちに力を貸して下さい。



星野 はる菜 さん 神奈川県私立中学高等学校教諭（国語科）

中国文学科 令和2年卒業

私は現在高校一年生と三年生の古文を担当しています。大学では中国文学科で主に漢文を勉強していたため、古文や現代文については授業準備から教えるに至るまでかなり時間がかかりました。一つに国語科の免許といっても現代文・古文・漢文とあるため、大学の授業では自分の専門でない分野の勉強も積極的にしておくと思いいます。

教員の仕事は生活指導もそうですが、一番大事な仕事はやはり「しっかりと授業を行うこと」だと考えます。そのためには時間が多く取れる大学生のうちに気になったことや興味のあることについてどんどん研究していってください。そうすることで増えた知識の引き出しが、授業のふとした時に引き出され、役に立ったことが何度もあります。教科書に載っていることだけでなく、大学で得た知識

を多く盛り込み、自分だけにしかできない授業をつくることを常に意識しています。國學院大學中国文学科で学んだ四年間の中では先生方の興味惹かれる授業が多くありました。ぜひ一つ一つの授業に意欲をもって参加してください。



後呂 知美 さん 埼玉県公立中学校教諭（英語科）

外国語文化学科 平成28年卒業

漠然と資格を取ろうと思って、教職課程を取ろうと考えている人は時間的にも金銭的にも負担がかかるので考え直してもいいかもしれません。学校現場で仕事をして感じたことは、想像以上に時間がないということです。これから大学に通われる皆さんには時間がとれる大学生の間に教員の仕事について深く学び、教科の専門性を高めることに努めてほしいと思います。

いずれにせよ、教員の仕事は毎日が勝負です。毎日の授業をしつつ、明日、1週間後、3年後の卒業をイメージしながら指導をしていく必要があります。大変だと思ってもありますが、日々成長していく生徒と関わることにこの上ない喜びを感じています。

大学で何をするかは自分次第です。自分の進むべき道を模索してみてください。

教員を目指してー卒業生へのインタビューー

東 知輝さん

(中国文学科 令和4年3月卒業)

教職を目指すことに決めた理由は？

中学校時代に恩師となる先生に出会うことができ、その先生のご指導で自分が充実した学校生活を送ることができました。私もこのような先生となって生徒に充実した学校生活を送ってほしいと思い教師を目指しました。

國學院大學を選んだ理由は？

これまでに多くの教師を全国に輩出している実績から、自分が教師になるための近道になるのではないかと考えたからです。教職の講義を担当していた先生方をはじめ、教職センターの支援が充実しているため、國學院大學を選んで良かったと感じています。

國學院大學の教職支援について、一番印象に残っていることは？

教師として教壇に立つものとしての心構えなど、教員になるうえで必要なことを多く学ばせていただいたことです。また企画の中で採用試験に合格された先輩方の面接等の再現演習を見て、来年には自身もこのようにならなければいけないと強く感じ、より一層採用試験に向けて準備を進めました。

國學院大學に入学して成長したなと感じた瞬間は？

入学当初は読むことができなかった漢文も少しずつ読むことができるようになったことや、教職を目指していく中で生徒とどのように関わって行かなければいけないのか。教育実習中に講義で学んだことを生かすことできた瞬間です。



(教職センター資料室コーナー)

どのような教師像を描いていますか？

生徒から信頼される教師です。また、私の校種は中学校ですが、中学生という思春期の大事な時間の中で充実した生活を送ることで人間として大きく成長すると考えています。自分が教師を目指すきっかけとなった先生のように、生徒の学校生活が充実したものになるよう支援を行うことができる教師を描いています。

教職を目指す後輩へのアドバイスをお願いします

教職をこのまま続けるか、一般に変えるか必ず自身の進路について迷う時期が来ると思います。そんなときは自分がどうして教員になりたいのか、その原点をもう一度振り返ってください。

教員採用候補者選考試験支援奨学金制度

「教員採用候補者選考試験支援奨学金制度」は、各試験に向けた準備のため、本学が指定した講座等に参加した学生に対して、講座等の受講費を支援する学内奨学金です。

受給対象者は、教職課程履修者の学部学生3年生以上（人間開発学部生は2年生以上）で、成績上位の者。教員採用試験を受験し、本学の指定する講座等を受講する者です。採用者は、本学指定の講座等の受講料及び教材費相当額が支給されます。

博報堂教育財団 教職育成奨学金

「博報堂教育財団 教職育成奨学金」は、教育者及びそれを目指す有為な人材を育成し、教員または教員を目指すものとして必要な経験や専門的知識を高めていくことを目的とした奨学金制度です（博報堂教育財団ホームページより）。

受給の対象となるのは、財団が指定する「奨学生推薦依頼大学」に在籍する学生で、かつ小学校教員、特別支援学校教員、中学・高等学校国語科教員のいずれかを目指す者のうち（年度によって異なる場合あり）、学内選考を経て財団に推薦された者となっています。私立大学の場合、奨学金額は年額120万円（月額10万円）、受給開始年度の4月から学部卒業まで受給されます。



様々な分野で活躍する卒業生

ジャーナリスト

丸山 ゴンザレスさん

史学科 平成13年卒業／大学院文学研究科
博士前期課程 平成15年修了

入学の動機は考古学を専攻することでした。考古学を学ぶことができる大学はいくつもありますが、伝統や実績、大学博物館（当時は資料館）に収蔵している資料を考えると國學院が良いなと思いました。故郷を離れて、いざ入学してみると師匠や先輩、同期との出会いによって濃密な研究室での日々を送ることができました。

紆余曲折あって考古学の世界で生きていくことは諦めましたが、それでも大学院まで専攻した考古学の思考法は、私のジャーナリストとしての取材手法の基礎になっています。

國學院で過ごした日々が間違いなく今の私を作っています。他のどこの大学でもなく、國學院だったからこそ今の自分があります。とはいえ、当時は後悔や挫折もいっぱいありました。実際、良い学校だったかどうかは在学中に結論づけられませんが、いつか振り返った時にそう思えるかどうかかなのです。できることなら良い母校と思えるように、やりたいことを詰め込んだ濃密な大学生活を送ってみてください。

作家

岩下 尚史さん

文学部 昭和61年卒業

シンギュラリティの黎明期に、國學院への進學を検討なさる貴方は幸運です。

なぜと云つて、記紀萬葉以来の秀れた文章の膨大なデータが人口知能に入力されはじめたばかりなのですから。

遠からず、AI みづから近代以前の日本語に籠められた叡智すなはち「やまごゝろ」を見出すことでせう。それは複雑多難な現実世界に應じて自分らしく、他に侵されぬやう、心暢やかに暮らすための智慧にほかならず、これを學習したAIを使役して、世のために生かす將來有望な人材と云へば、國學者の遺緒を継ぐ國學院の學生に違ひないと信じます。

我が校の先達である三矢重松先生は、國學者の道は改進黨にあると説かれました。急速な國際化のなかで辺疆の閑文字になるかと危ぶまれた日本文學が、人口知能の發達によつて無二の力を發揮しようとする僥倖にめぐりあつた世代の貴方を羨ましく思ひます。

さらに、めざましい再開発の途上にある澁谷の繁華街ちかくに校舎があることも幸運です。最先端の風俗文化に親しむことは、のちの人生にうるほいと奥行きを齎しますから。

声優

浅野 真澄さん

日本文学科 平成12年卒業

なにかもかが珍しく、不慣れで、戸惑っているうちにどんどん過ぎていってしまう。それが私の、学生生活の印象でした。「人生で一番楽しい4年間だよ」「どんなことでもできるね」そう言われるたび人知れずプレッシャーを感じていました。受験生と社会人のはざま、突然与えられた期限付きの自由を、私は皆のように謳歌できるのか。その自信が持てなかったのです。

我が家は貧しく、奨学金を2種類もらいながらの学生生活でした。仕送りもなく、アルバイトに追われる毎日。そのことが恥ずかしく、同級生たちを眩しく思っていました。あのとき感じた劣等感、足りないものだらけの暮らし、貧しいからこそその創意工夫。その経験一つひとつが私を作り上げた、今ならわかります。精一杯考えて選択したことに失敗はなく、すべてが人生のステップなんだ、真剣に向き合うことこそが「謳歌」なんだと、学生時代の私に教えてあげたい。皆さんはどうか恐れず、思い切り味わい尽くしてください。

國學院大學には、学生が目指すキャリアに近づくための各種資格課程があります。学部教育での学びを自分の将来につなげる、資格という「かたち」にする、新しい自分の可能性を探るなど、動機はさまざまですが、自ら目標を設定し、チャレンジする学生が数多くいます。

博物館学課程

学芸員は、博物館法第4条第3項の規定に基づいて博物館に配置される専門職員で、本課程を終了すると国家試験免除で国家資格である学芸員資格を取得することができます。学芸員は、博物館資料の収集・保管・展示・調査研究や教育活動などを職務内容としています。

本学では、専ら人文科学系の博物館に必要な学芸員を養成しています。特に実習には力を入れており学芸員として赴任の直後から、具体的な実務を完全とはいかないまでも遂行できるよう、博物館資料に関する基本的な知識と技術の修得を教授することを目標としています。

なお、本学で所定の単位を修得した場合、「学芸員となるための単位修得証明書」を卒業時に交付します。

図書館司書課程

図書館法は、公共図書館の専門的職務にあたる職員を司書及び司書補と定めています。

本課程では、公共図書館で働くための専門者の育成とともに、国立国会図書館、大学図書館、専門図書館などでの「司書」という職種にも活かせる資質を養成します。最近では、大型書店・書籍流通業・情報産業並びに一般企業でも司書資格を求める傾向がみられます。本課程は、図書館資料および学術情報の選択収集・整理・保存・利用に関する専門的知識と技術の習得が中心となりますが、情報社会におけるスペシャリストとしての資質の養成も視野に入れています。

なお、本学で所定の単位を修得した場合、「図書館司書となるための単位修得証明書」を卒業時に交付します。

学校図書館司書教諭課程

学校図書館法には、すべての小・中・高等学校(および特別支援学校の小学部・中学部・高等部)に学校図書館を設けること、その専門的職務を掌らせるために司書教諭を置くこととされています。12学級以上の規模の学校では、この司書教諭を置くことが義務付けられています。司書教諭は、教科を担当できる教諭であるとともに、メディア・リソース・センターとして学校図書館を管理運営し、児童・生徒の読書活動と情報活用能力の育成を図り、教師の教育活動を支援することを職務内容としています。

日本語教員養成課程

この副専攻プログラムは、日本語教育に関する知識を、言語、教育、社会・文化・地域に関わる領域から体系的に学ぶことにより、多様な日本語教育の現場に対応した教師としての資質を磨きます。修了証は日本語教育機関の教員の条件の1つに相当するので、これらの知識は、異文化共生時代を迎えた日本、及び国際交流の進む海外における活動の選択肢を拡げることに役立ちます。

神職課程

神社本庁所属神社の神職となるためには、『定められた「階位」(神職資格)』を有することが必要となっています。本課程は、神社界で大いに活躍できる人材を養成することを目的として設置されています。

國學院大學図書館

質・量ともに「より使いやすい」図書館

明治15(1882)年の創立以来、本学図書館は長きにわたって神道・国史・国文・国法関係を中心に、広く文献資料の収集を続けています。現在では160万冊以上の蔵書数を誇り、人文科学研究における日本屈指の図書館として知られるようになりました。

館内には、文献を自由に手に取って見ることのできる書架・閲覧スペースのほか、勉強会などの活動に利用できるグループ学習室を設置し研究学修の環境を整備しています。

図書館や資料室・研究室などの所蔵資料は蔵書検索システム「K-aiser」(カイザー)で検索ができます。図書館が契約しているオンラインデータベースなどのデジタル情報もK-aiserを窓口にして利用が可能です。

また、図書館所蔵の貴重な資料やコレクションの一部は「デジタルライブラリー」で公開しています。



國學院大學図書館（渋谷）

◆國學院大學図書館 図書館の所蔵資料、貴重書を公開中！

〈K-aiser/OPAC〉所蔵資料

<https://www.kaiser.kokugakuin.ac.jp/>



〈デジタルライブラリー〉貴重書

<https://opac.kokugakuin.ac.jp/digital/diglib.html>





林 道義 さん 上里町教育委員会 町立郷土資料館 文化財係 主事

史学科 平成 28 年卒業／大学院文学研究科博士課程前期 史学専攻博物館学コース平成30年修了

私は平成28年度より、埼玉県北部の上里町立郷土資料館で文化財の保護や学芸員の仕事をしています。小さな館ですが、初めて触れる仕事に戸惑いつつも、驚きと感動に満ち溢れた日々を送っています。ところで、皆さんは博物館や学芸員と聞くと、どのような仕事を想像するでしょうか。当資料館では、館内の管理だけでなく、文化財保護に関する事務、地域の学校での出前授業、遺跡の発掘調査など、様々な業務を行っています。もちろん、仕事の内容は個々の館や自治体によって、多少異なると思いますが、学芸員が過去から現在の人々へ文化財の持つ価値を伝えるという点は、全国、どの館でも同様です。この仕事をするようになって以来、過去と現在を繋ぐ懸け橋になれるよう、模索する日々が続いています。



竹内 夏奈子 さん 東京海洋大学学術情報課情報サービス第二係

日本文学科 平成26年卒業

私は現在、東京海洋大学越中島キャンパス図書館に勤務しています。在学中に履修した図書館司書課程の授業は、どれも印象に残っています。

特に、レファレンス（利用者からの質問に資料を調べて回答する業務）の演習授業では、実際に図書館に寄せられた質問が毎回課題として出され、インターネット検索では十分な情報が集まらず、さまざまな資料を調べる必要があり、かなり苦戦しました。ですが、質問者が求める情報を見つけた時は嬉しく、他の学生の調べ方もとても参考になりました。この授業を通じて、膨大な情報の中から利用者の求める情報をつなぐ、架け橋となるような図書館職員を目指したい、と強く思うようになりました。

この思いは、今も大事な目標となっています。



瀧 孝平 さん 高輪神社権禰宜

日本文学科 平成27年卒業／大学院文学研究科文学専攻博士課程前期 平成29年修了

私は文学部日本文学科に所属していましたが、実家が神社であることから神職課程を履修しました。文学部に所属しながら神職課程を履修するという事は、自分の所属する学科の専門科目に加え、神職資格に必要な科目を70単位以上修得しなければなりません。

私自身の経験から言えば、文学部所属の学生が神職課程を履修することで学び得られることや経験は本当にかげがえのないものです。文学部で古典や歴史を学ぶにおいて、当時の時代背景や宗教文化の理解は不可欠です。神職課程の授業では、神道の視点や立場から様々なことを学ぶことができます。私も日本文学科の学生として神道を学んでみて、大変というよりも、寧ろ、有意義で濃密な4年間だったと実感しています。

國學院大學博物館

日本のモノと心を知る大学ミュージアム

國學院大學博物館は、大学が有する数々の学術資料や研究成果を公開する施設です。そのはじめは、1928年創設の考古学標本室に遡ります。約10万点の資料を収蔵し、うち約2000点を常時展示しています。

広さ500坪程の展示エリアは、縄文土器や埴輪などを展示する「考古学エリア」、神社や祭祀に関連する資料を展示する「神道エリア」、そして、大学の歴史や宮家ゆかりの資料を公開する「校史エリア」の3つの常設展と企画展示室に分かれています。企画展示室では、年間を通して様々なテーマで企画展や特別展を開催し、日本の歴史や文化に関する最新の研究に触れていただける場所となっています。

この他、各種の教育普及事業、外部機関との連携などを通して、社会に開かれた大学の窓口としての役割も担っています。



〈Facebook〉 <https://www.facebook.com/kokugakuinmuseum/>



〈Twitter〉 https://twitter.com/Kokugakuin_Muse



◆ 國學院大學博物館オンラインミュージアム YouTubeで展示解説が聞ける！

http://museum.kokugakuin.ac.jp/event/detail/online_museum



國學院大學大学院

伝統と実績を誇る歴史ある大学院。優秀な研究者と高度な専門職業人の育成に努めます。

國學院大學大学院からのご案内

文学研究科は、日本文化の真髄を理解し、かつ幅広い知識を持つことで、新しい価値観を創造し、人類文化の発展に寄与できる優れた研究者や専門的業務に従事する者の養成を目的にしています。

長い歴史を持つ3つの専攻は神道学・宗教学専攻、文学専攻、史学専攻です。専門性の高い、充実したカリキュラムを整え、図書館や博物館などの豊富な資料も活用した教育研究も特徴です。さらに、文部科学省が推進する複数の研究プログラムへの採択や、他の大学院との単位互換、学部生の大学院科目先取り履修制度の導入、大学院奨学金制度の改革、入試制度の改革、博士学位取得者への出版助成など、常に前進しながら発展しております。



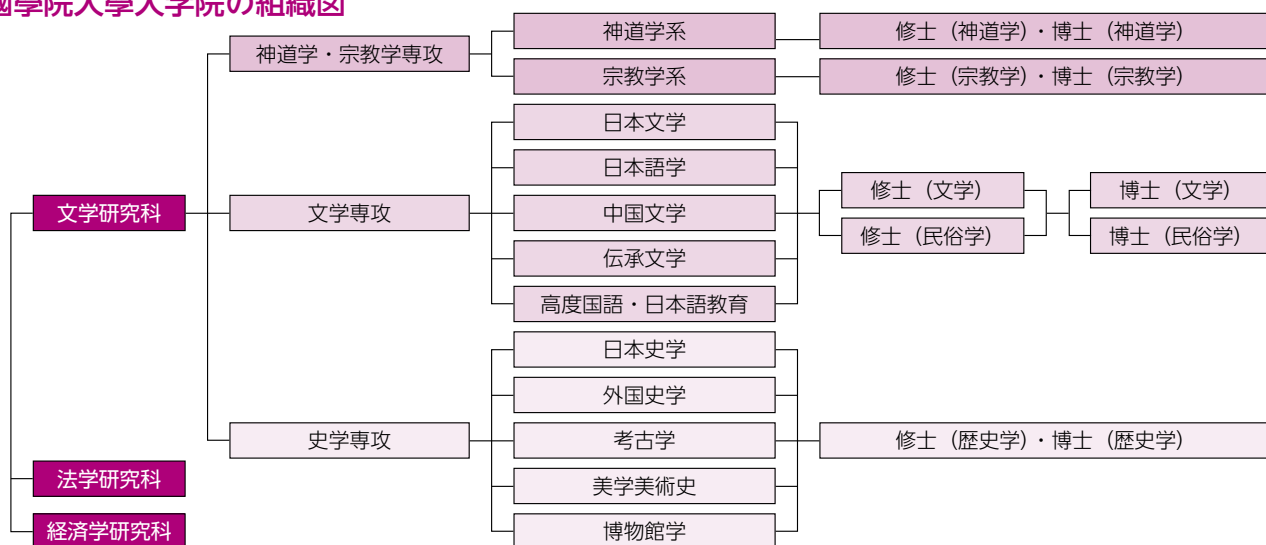
大学院文学研究科委員長からのメッセージ

研究者・専門職をめざしているみなさんへ

大学院文学研究科委員長 佐藤 長門教授（博士 歴史学）

大学院文学研究科には神道学・宗教学、文学、史学の3専攻がおかれ、毎年10名前後の学位（博士号）取得者を輩出し、多くのOB・OGたちが全国の大学や研究機関などで学究生活を送っています。かくいう私も、本学大学院出身者の末席につらなるひとりです。奨学金も充実しているので、研究者や専門職をめざしているみなさんは、ぜひ大学院進学を検討してみてはいかがでしょうか。

國學院大學大学院の組織図



■学位の取得

博士課程前期（修士）の標準在学期間は2年で、30単位以上を修得し、修士論文または特定の課題についての研究成果（リサーチ・ペーパー）の審査に合格すれば「修士」の学位が授与されます。博士課程後期の標準在学期間は3年で、12単位以上を修得し、博士論文の審査および試験に合格すれば「博士」（課程博士）の学位が授与されます。

■修了後の進路

各研究科で人材養成の目的が明確になっており、各自の専門分野を活かした就職を目指していて、研究活動への真摯な取り組みと意欲が結果につながっています。また、後期課程進学や特別研究生として研究を継続する学生も見られます。

◆文学研究科の主な就職分野

教員（大学、高校、中学）、研究員（研究機関・財団）、公務員、学芸員（各種博物館）、神社界、非営利団体、出版など

■博士論文・修士論文の題目（代表例）

【神道学・宗教学専攻】

近現代神社祭祀制度の研究（博士学位授与）

近世神道思想における聖徳太子の役割について—『旧事大成経』を中心に—（修士学位授与）

【文学専攻】

日本近代文学における「芝居」と「女性」—太宰治・斎藤緑雨を中心に—（博士学位授与）

中国青海省の漢（かん）民族の葬礼をめぐる民俗学的研究（博士学位授与）

中古和文における禁止表現（修士学位授与）

【史学専攻】

幕末維新期における譜代藩江戸留守居役と江戸藩邸（博士学位授与）

〈文学〉を展示する—歴史・価値・可能性—（修士学位授与）

ヴィクトリア・パブリックスクールと横浜のイギリス人居留民（修士学位授与）

体験授業の受講と大学院授業の感想

大学院に興味を持つ学部生が大学院の学びに触れることを通して、研究の楽しさや深さを実感してもらい、大学院への進学に結び付けたいという主旨にて令和3年度より体験授業(本学学部生対象)を実施しております。

■体験授業科目

神道思想史研究 B (講義)
日本中古文書研究 BⅡ (演習)
民俗学研究 BⅠ (演習)
日本古代史研究 BⅠ (演習)
美術史研究 BⅡ (演習)

※上記は一部抜粋です。その他多数の科目があります

学生の声

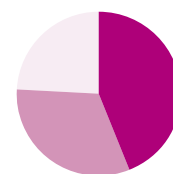
Q 体験授業受講のきっかけは何ですか？

- ・大学院に興味があったため
- ・面白そうだったから

Q 体験授業を受講した感想など

- ・難しい内容だが、大学院の雰囲気を学びつつ楽しく受講した
- ・大学院の雰囲気を感じ取れて大きな収穫だった
- ・皆さんがあたかく迎えてくださって正直にホッとした
- ・思考方法や問題の立て方も学べておおいに刺激となった

受講後、大学院研究科への進学意欲について



■ とても意欲的だ
■ 意欲的だ
■ 普通
■ 消極的だ
■ とても消極的だ

國學院大學大学院の奨学金制度

【國學院大學大学院奨学金制度(給付)】

本学独自の奨学金制度です。令和2年度から、経済支援型と学業奨励型の奨学金として、新しい奨学金制度が導入されます。詳細は、制度が決まり次第告知いたします。

【協定留学及び認定留学奨学金(給付)】

海外の大学へ協定留学又は認定留学を行う大学院学生に対し、学業を奨励し、留学期間が2学期間の者には40万円を、1学期間の者には20万円を支給します。

【日本学生支援機構奨学金(貸与)】

第1種(無利子)

前期課程:月額55,000円・88,000円から選択

後期課程:月額80,000円・122,000円から選択

第2種(有利子)

月 額50,000円・80,000円・100,000円・130,000円・150,000円 から選択

※このほか経済的な負担を軽減し、学業奨励を目的とした奨学金制度があります

大学院委員長特別賞

大学院学生の学修意欲向上を目的として、その年度に優秀な学業成績を収めた学生に対して、その業績を称え、誇りをもって研究活動を継続できるよう表彰を行う制度です。

國學院大學の出版助成

本大学院で課程博士の学位を得た論文のうち刊行するに相当と認められた研究論文について、大学がその費用の一部を助成する制度です。この制度には若手研究者支援を行うこと、また、書籍出版という高い目標による質の高い研究活動(博士論文執筆)の促進も意図しています。

助成受給者からのメッセージ

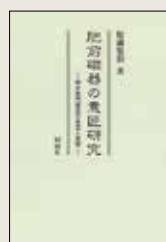
國學院大學 兼任講師 松浦 里彩さん (令和2年3月21日 博士(歴史学)学位授与)

【修了年度】平成30年3月31日 國學院大學大学院文学研究科 博士後期課程史学専攻 所定単位修得退学
(平成30年4月～令和2年3月 國學院大學大学院文学研究科特別研究生として在籍)

進学を考えはじめたのは、本学で日本史学を専攻しながら美学・芸術学の科目も受講していた大学3年生の頃。研究職や大学教員に興味をもったことがきっかけです。

卒業論文のテーマでもあった伊万里焼の研究を深めるため、大学院では美学美術史コースに所属し、肥前磁器の意匠研究に取り組んできました。やきものの意匠はとても豊かで、国をも越える美術や文化の広いつながりを実感できる点も魅力的です。

本学の兼任講師となった今も自身の研究を続けています。今回、出版助成をいただき、これまで取り組んできた研究の成果を一冊の本という形にする機会をいただけたことに、感謝の気持ちでいっぱいです。



■書籍基本情報

『肥前磁器の意匠研究－柿右衛門様式の成立と展開－』

(株式会社同成社 2022年3月下旬)

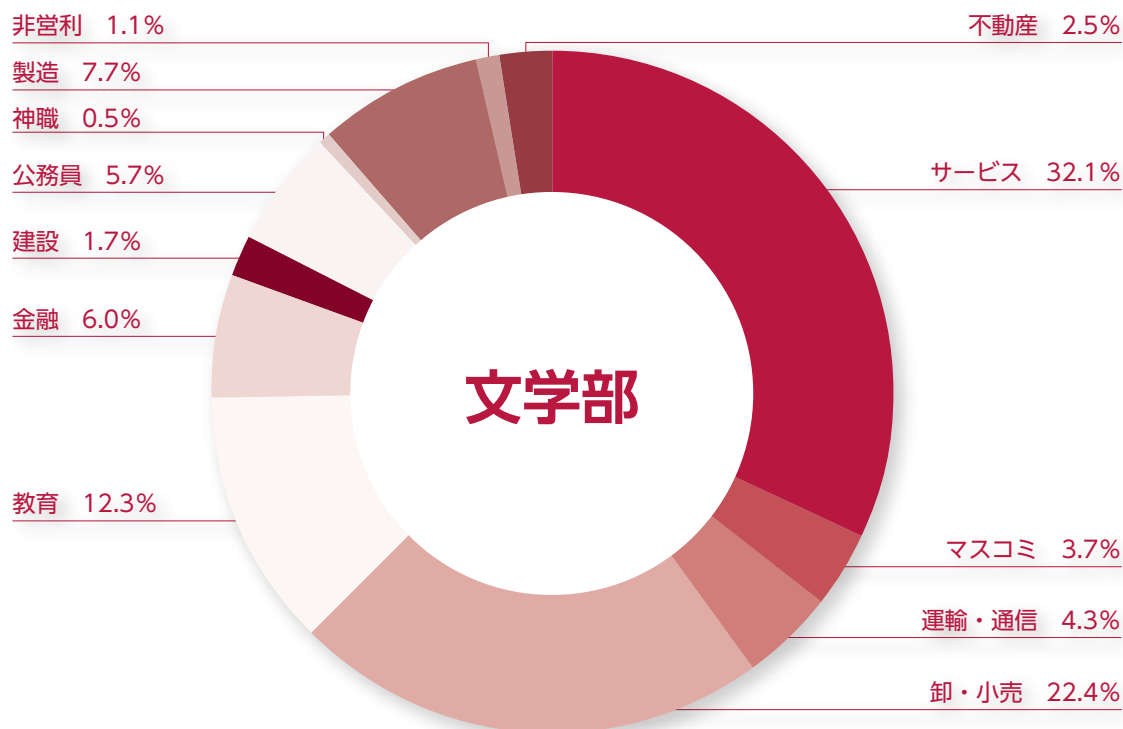
【内容】肥前磁器の中でも17世紀後期の延宝期を中心に展開した作風について、文様の描法および配置方法の分析からその構成要素や成立背景の解明を試みる。

■出版助成名称 國學院大學課程博士論文出版助成金

■受給年度 令和3年度



(令和5年3月卒業生)



サービス

エヌ・ティ・ティ・データ
NTT東日本・関信越
コナミデジタルエンタテインメント
小学館集英社プロダクション
西武・プリンスホテルズワールドワイド
日本郵便
日立ソリューションズ
マイナビ
楽天グループ

マスコミ

朝日広告社
サイバーエージェント
第一法規
テレビ朝日サービス
日本放送協会 (NHK)
リクルート

運輸・通信・旅行

ANAエアポートサービス
上組
近鉄エクスプレス
京王電鉄
京浜急行電鉄
KDDI
JALスカイ
鈴与
西武鉄道
全日本空輸 (ANA)

ソフトバンク
東海旅客鉄道 (JR東海)
日本通運
日本航空 (JAL)
東日本旅客鉄道 (JR東日本)
北海道旅客鉄道 (JR北海道)
郵船ロジスティクス

商社・小売

イオンリテール
伊藤忠食品
キャノンマーケティングジャパン
京王百貨店
スズケン
セブンイレブン・ジャパン
そごう・西武
東急百貨店
トーハン
日本瓦斯 (ニチガス)
日本アクセス
日本出版販売
ニトリホールディングス
ファーストリテイリング
ファミリーマート
マルハニチロ
三井物産流通グループ
三越伊勢丹
三菱食品
良品計画

金融

SMBC日興証券
住友生命保険
第一生命保険
千葉銀行
中央労働金庫
日本年金機構
日本生命保険
野村證券
みずほ証券
みずほフィナンシャルグループ
三菱UFJ銀行
三菱UFJモルガン・スタンレー証券
明治安田生命保険
横浜銀行
りそなホールディングス

建設・不動産

旭化成ホームズ
関電工
熊谷組
清水建設
積水ハウス
大成建設
大成ロテック
千代田化工建設
東亜道路工業
東急建設
東急リパブル
松井建設

製造

アイリスオーヤマ
アサヒビール
伊藤園
イトーキ
エフピコ
大阪シーリング印刷
沖電気工業
カゴメ
グンゼ
コーセー
資生堂
スズキ
住友化学
住友電装
大日本印刷
太平洋セメント
太陽日酸
ツムラ
THK
東急ストア
東芝テック
DOWAホールディングス
TOPPAN
TOPPANエッジ
ニチレイフレッシュ
日本発条
日本ペイントホールディングス
日本製鋼所
日本ヒューレット・パッカード

(令和5年3月卒業生)

(%)

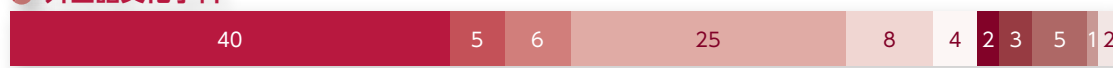
日本文学科



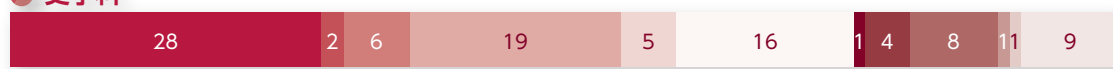
中国文学科



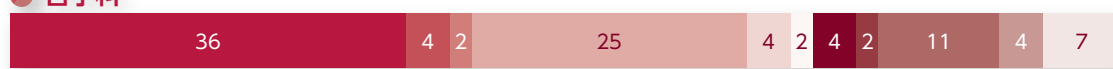
外国語文化学科



史学科



哲学科



※小数点以下を四捨五入しております

ノーリツ
富士通ゼネラル
フジパングレープ本社
ブリヂストン
ブルボン
本田技研工業
マクニカ
三菱自動車工業
明電舎
メディセオ
横浜ゴム

非営利・神社

千葉県民共済生活協同組合
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
独立行政法人自動車事故対策機構
独立行政法人地域医療機能推進機構
独立行政法人中小企業基盤整備機構
独立行政法人日本学術振興会
大國魂神社
神社本庁
日枝神社
靖國神社

国家公務員

青森地方検察庁
関東信越国税局
経済産業省
皇宮警察本部
航空自衛隊
厚生労働省

国土交通省
札幌刑務所
東京高等裁判所
東京出入国在留管理局
独立行政法人国立印刷局
防衛医科大学校
防衛省海上自衛隊
防衛省陸上自衛隊
宮崎労働基準監督署
横浜地方検察庁

地方公務員

神奈川県庁
群馬県庁
埼玉県庁
静岡県庁
島根県庁
千葉県庁
東京都庁
栃木県庁
福島県庁
北海道庁
足立区役所
荒川区役所
板橋区役所
江戸川区役所
大田区役所
葛飾区役所
品川区役所
新宿区役所
杉並区役所

墨田区役所
世田谷区役所
台東区役所
中野区役所
練馬区役所
文京区役所
目黒区役所
京都市役所
川崎市役所
さいたま市役所
千葉市役所
横浜市役所
特別区競馬組合

教員

愛知県公立中学校・高等学校
茨城県公立小学校・中学校・高等学校
神奈川県公立小学校・中学校・高等学校
岐阜県公立高等学校
群馬県公立中学校・高等学校
埼玉県公立小学校・中学校・高等学校
佐賀県公立中学校
静岡県公立中学校
千葉県公立小学校・中学校・高等学校
東京都公立小学校・中学校・高等学校
栃木県公立中学校・高等学校
鳥取県公立小学校
富山県公立中学校

長野県公立小学校・中学校・高等学校
新潟県公立高等学校
福島県公立中学校
北海道公立小学校・中学校・高等学校
宮城県公立中学校・高等学校
山形県公立高等学校
山梨県公立高等学校
國學院大學久我山中学高等学校
國學院大學栃木中学・高等学校

進学先

青山学院大学大学院
お茶の水女子大学大学院
学習院大学大学院
京都大学大学院
國學院大學大学院
千葉大学大学院
筑波大学大学院
東京学芸大学大学院
東京藝術大学大学院
東京大学大学院
東京都立大学大学院
東北大学大学院
一橋大学大学院
立教大学大学院
立命館大学大学院
早稲田大学大学院

(令和元年3月～令和5年3月卒業生)



留学プログラム一覧

夏期・春期短期留学

夏休み・春休みの3～4週間の留学プログラムで、語学研修と文化体験が主目的です。

夏期（8～9月）

- ダブリンシティ大学（アイルランド）
- ロイヤルメルボルン工科大学（オーストラリア）
- 南台科技大学（台湾）
- ブレーメン大学（ドイツ）

春期（2～3月）

- アジアパシフィック テクノロジー&イノベーション大学（マレーシア）
- ロイヤルメルボルン工科大学（オーストラリア）
- 復旦大学（中国）
- ル・アーブル・ノルマンディー大学（フランス）

セメスター留学

学期中の4～6カ月間の留学プログラムで、中級の語学学修者が上級を目指すことが主目的です。

英語圏

- クライストチャーチ工科大学（ニュージーランド）
- マニトバ大学（カナダ）
- ミズーリ大学（米国）

中国語圏

- 国立台湾師範大学（台湾）

認定留学

本学に在籍しながら海外の大学に1学期間（半年間）もしくは2学期間（1年間）留学し、海外で修得した単位を、本学の単位として認定する制度で、本学が学生交換協定を結んでいない大学への留学が可能です。

協定留学

1学期間（半年間）もしくは2学期間（1年間）の協定校への交換留学で、現地の学生と同じ学部授業を履修する留学、現地の言語を学修する語学留学、英語で学部授業を履修する留学があり、留学先により異なります。

英語圏

- マニトバ大学（カナダ）
- ノースウェストミズーリ州立大学（米国）

中国語圏

- 復旦大学中文系（中国）
- 南開大学（中国）
- 南台科技大学（台湾）
- 世新大学（台湾）

その他

- 京畿大学（韓国）
- ハノイ大学（ベトナム）
- ルーヴェンカトリック大学文学部（ベルギー）

協定留学対象校

大学	学部授業留学	語学留学	英語による学部留学
マニトバ大学(カナダ)	○	—	—
ノースウェストミズーリ州立大学(米国)	○	—	—
復旦大学中文系(中国)	○	—	—
南開大学(中国)	○	—	○
南台科技大学(台湾)	○	—	○
世新大学(台湾)	○	—	○
京畿大学(韓国)	○	○	○
ハノイ大学(ベトナム)	—	○	○
ルーヴェンカトリック大学文学部(ベルギー)	—	—	○

キャンパス内での国際交流

国際交流イベント

國學院大學では、留学生と交流できる学内国際交流イベントがたくさんあります。どれも気軽に参加できるものばかりです。留学生と雑談を交えながら、日本文化や世界中の文化を学びあうことができます。

イベント例

4月 ● 池袋防災館訪問 ● 和菓子作り体験

5月 ● カップヌードルミュージアム訪問

6月 ● 歌舞伎鑑賞教室

7月 ● セタ Coffee Hour

9月 ● 池袋防災館訪問

10月 ● 陶芸体験

11月 ● 東京国立近代美術館

12月 ● ホテル雅叙園百段階段訪問

※イベントは年によって内容が変わります



International Coffee Hour

International Coffee Hourは、学期中の2週間に1回（約1時間）程度、キャンパス内で気軽に楽しくできる国際交流の場です。ソフトドリンクを飲んだりお菓子をべたりしながら、留学生や国際交流に関心の高い人たちと楽しいひと時を過ごします。國學院大學の学生ならだれでも参加できます。



留学や国際交流に関する詳細は、國學院Webサイトの「海外留学支援」をご覧ください。

<https://www.kokugakuin.ac.jp/student/abroadstudy>



國學院大學奨学金制度について

國學院大學では独自の奨学金として、勉学への熱意を経済面から支援するとともに、自ら多面的な能力、可能性を伸ばし、夢の実現に向けて学業に専念できるよう、目的に応じた各種奨学金制度を用意しています。令和6年度現在、20種を超える奨学金制度があり、すべて返還の必要がない「給付型」です。その中のいくつかをご紹介します。詳細は、大学公式HP（ ）受験生の方 ）入試情報・学費 ）学費・奨学金）、また入学後に実施されるガイダンス等でご確認ください。

I. 学業奨励支援

特に優れた学業成績を修めた者を表彰し、さらにその能力を伸ばし勉学を奨励することを目的とする制度です。

- 國學院大學成績優秀者奨学金制度

【対象】 学部学生2年生以上

II. 修学経済支援

向学心と勉学への熱意を持ちながら、経済的理由で修学が困難な学生に対して、学費の負担を減らし、学業の継続を支援する制度です。

- 大規模災害学費減免制度

【対象】 大規模災害により被災し、修学が困難になった学部学生1～4年生で日本学生支援機構奨学金の受給者または採用予定者

- 特例給費奨学金

【対象】 入学後、家計支持者の経済状況が急変した学部学生1～4年生

- 國學院大學若木育成会学費等支援制度

【対象】 入学後、家計支持者の死亡により家計が急変した学部学生1～4年生

- ふるさと奨学金（V. 特定寄付金による支援）

【対象】 家計が困窮している地方出身者（首都圏1都3県を除く）であり、自宅外通学者かつ学業成績良好な者

- カピー奨学金（V. 特定寄付金による支援）

【対象】 向学心があり経済的理由により修学が困難な者。学部学生1～4年生

- 教育ローン利子補給制度

【対象】 本学入学の際及び在学中に教育ローンを借り入れた世帯の学部学生1～4年生

III. 海外活動支援

國學院大學と協定を結ぶ海外の大学への留学を希望する学生に対して、経済的負担を減らし、支援する制度です。

- 國學院大學協定留学奨学金制度

【対象】 協定留学に参加する者

- 國學院大學協定留学「標」奨学金制度

【対象】 2学期間の協定留学を國學院大學より許可され、留学先大学への留学手続きを完了した学部学生のうち、特に優秀と認められた者

- 國學院大學認定留学奨学金制度

【対象】 本学が実施する認定留学に参加する者

- 國學院大學認定留学天翔奨学金制度

【対象】 本学が実施する2学期間の認定留学に参加する学部学生のうち、特に優秀と認められた者

- 國學院大學セメスター留学助成金制度

【対象】 セメスター留学に参加する者

- 國學院大學セメスター留学学習奨励金制度

【対象】 セメスター留学において優れた学修成果を収めた者

- 國學院大學短期留学グローバル・チャレンジ奨学金制度

【対象】 本学が実施する短期留学プログラムに参加する学部学生のうち、優れた学修成果を収めた者

IV. 進路支援

各試験に向けた準備のため、本学が指定した講座（セミナー）に参加した学生に対して、講座等の受講費を支援する制度です。

- 教員採用候補者選考試験支援奨学金制度 → P.44参照

- 国家公務員採用総合職試験支援奨学金制度

【対象】 学部学生2年生後期に実施する選考試験を受験し、本学指定の外部セミナー等を指定した期間を通して受講できる者

- 公認会計士試験支援奨学金制度

【対象】 日商簿記検定2級に合格にした者で、本制度における選考試験に合格し、本学指定の外部セミナー等を指定された期間を通して受講できる者

V. 特定寄付金による支援

本学の元教員、卒業生、元職員、学生のご遺族の寄付金により制定され、目的に応じて給付される制度

ボランティアステーション

ボランティアステーションでは、國學院大學が企画・運営するボランティア活動への支援、学外のボランティア団体のボランティア情報の紹介、大学の事業・業務に学生スタッフとして参画する「学内ワークスタディ」情報の発信を主として行っています。また、ボランティア活動をしたいという学生に対しての相談も受け付けています。

ボランティアに興味がある方、ボランティア活動をしてみたいという方、気軽に相談に来てください。



学生アドバイザー

私たち学生アドバイザーは、「在学生の視点から國學院大學の魅力を受験生に伝えていくこと」を目的に活動している学生団体です。主な活動としては、①オープンキャンパスの企画・運営 ②キャンパス見学会でのツアーコンダクター ③SNSの運用 ④その他大学イベントの補助業務などが挙げられます。1人でも多くの受験生に、國學院大學のファンになってもらえるよう、日々の学生生活での出来事や、自分自身が受験生だった頃の体験談を活かして、活動に励んでいます！

学生アドバイザーの活動を通じて、「様々な学部・学科の仲間と共に、國學院大學の魅力伝えてみたい！」という思いを持ってくださった方は、渋谷キャンパス・若木タワー1Fの入学課までお問い合わせください。活動を通して、自分自身も新たな大学の魅力に気付くことができます！



エルダーサポーター

こんにちは！エルダーサポーターです。私たちは、入学式後の前期・後期履修登録期間中に皆さんが「疑問に思うこと」や「不安（心配）に思うこと」を、皆さんに近い「先輩」という立場から、これまでの経験を活かしてアドバイスやサポートを行います。履修相談や大学生活相談など、疑問に思ったことはどんなことでも良いので、一人で悩まず気軽に相談してください。解決できるようお手伝いします。分からないことの多い新入生が気持ちよく大学生活を過ごせるように、皆さんの近くから全力でサポートすることを約束します！



その他の学内ワークスタディ

学生サポーター

障がいがある学生の学修支援を行います。障がい学生のニーズを受けてパソコンノートテイクや代筆、学内の移動補助など様々なサポートを行っています。

内定者アドバイザー

大手優良企業や官公庁から内定を獲得した4年生が、その経験を活かして学生目線で就職活動のサポートを行います。

◆**國學院大學文学部** 文学部の魅力や教員情報なども満載！

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters>



◆**日本文学科** 日本の伝統文化や精神を体系的に学びます！

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters/dojl>



上野誠の万葉エッセイ（上野誠先生）
<http://www.manyou.jp/>



学術研究会・平家物語研究会（顧問：野中哲照先生）
〈Twitter〉<https://twitter.com/Heikeken1>



國學院大學中古文文学研究会
（顧問：竹内正彦教授）
〈Twitter〉<https://twitter.com/kguchukobungaku>



國學院大學近世文学会（顧問：中村正明教授）
〈Twitter〉https://twitter.com/kokugaku_kins2



◆**中国文学科** 中国古典の研究を介して国際感覚を身に着けよう！

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters/docl>



◆**外国語文化学科** 外国の言語と文化を学び異文化と交流しよう！

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters/doflacs>



◆**史学科** 歴史を読み解く力は様々な分野に生かされる！

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters/doh>



博物館学研究室
<https://sites.google.com/view/kokugakuinmuseumstudy/>



考古学研究室
<http://www2.kokugakuin.ac.jp/archaeology/>



〈Twitter〉https://twitter.com/arche_kokugaku



◆**哲学科** 古今東西の思想や芸術を考察し「考える」力を磨こう！

<https://www.kokugakuin.ac.jp/education/fd/letters/dop>



〈Facebook〉<https://www.facebook.com/kokugakuinphilosophy>



〈Twitter〉<https://twitter.com/kokugakuinphilo>



國學院大學哲学科／哲学会



で検索

大学のマスコットキャラクター**こくびん**です！古事記の「因幡の白兔（稲羽之素菟）」にも登場するウサギがモチーフで、櫛を耳に飾り、勾玉を首にかけています。右は文学部のオリジナルバージョンです。



國學院大學 文学塾

第八期塾生募集

令和七年（2025）

三月開講予定

会場 國學院大学渋谷キャンパス

対象 高校生

國學院大學文学塾とは

高校生のための新たな学びの場です。

伝統ある國學院大學文学部ならではの

専門性の高い内容で、知的好奇心の強い

皆さんの期待に応えます。

学問の最先端を、ぜひ体験してください。



詳細は令和6年秋にお知らせします！

もっと日本を。もっと世界へ。



國學院大學



交通案内

渋谷キャンパス 文学部、神道文化学部、法学部、経済学部、大学院、専攻科、別科

渋谷駅からのアクセス

渋谷駅 (JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線) ……徒歩約13分
 渋谷駅 (JR埼京線・湘南新宿ライン) 新南口 ……徒歩約10分
 都営バス (渋谷駅東口バスターミナル54番のりば 学03日赤医療センター前行)
 ……「国学院大学前」下車、所要時間約10分

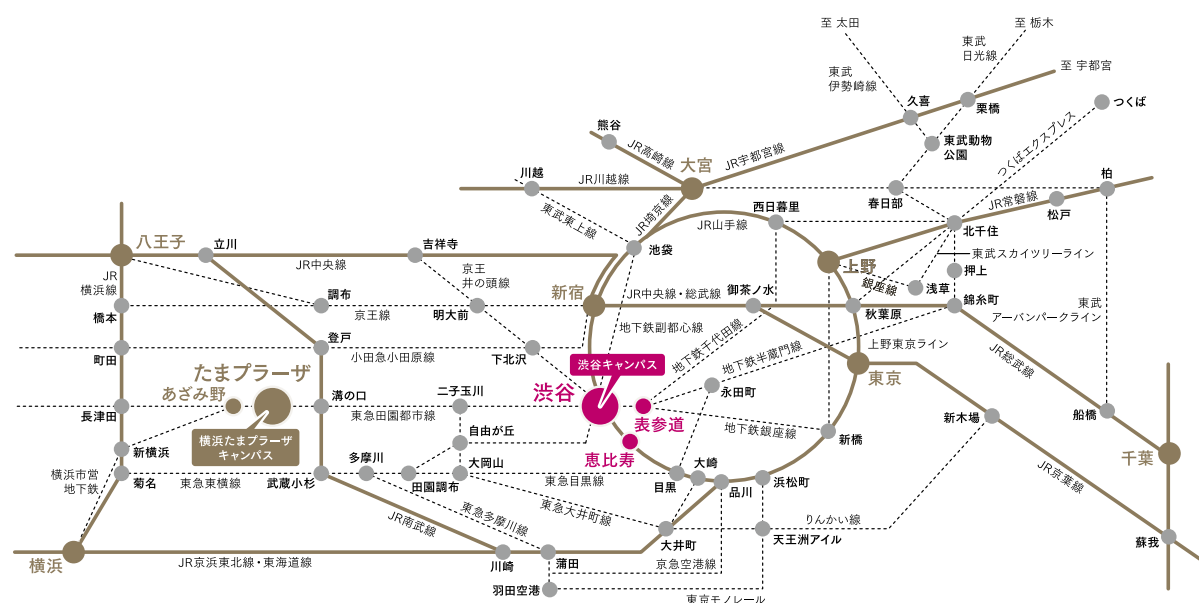
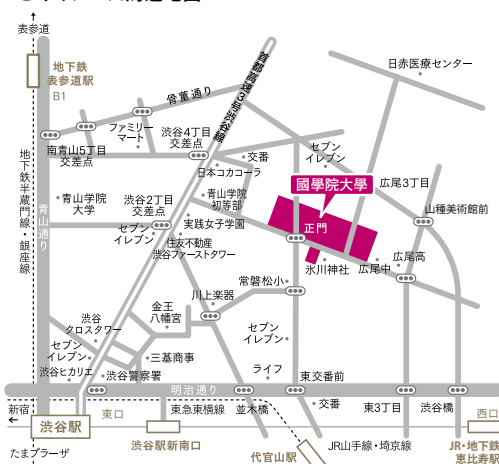
表参道駅からのアクセス

表参道駅 (地下鉄半蔵門線・銀座線・千代田線) B1出口 ……徒歩約15分

恵比寿駅からのアクセス

恵比寿駅 (JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン・地下鉄日比谷線) ……徒歩約15分
 都営バス (恵比寿駅西口ロータリー1番のりば 学06日赤医療センター前行)
 ……「東四丁目」下車、所要時間約10分

●キャンパス周辺地図



お問い合わせ先

國學院大學文学部資料室

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28

E-mail bun_siryo@kokugakuin.ac.jp

國學院大學ホームページ

<https://www.kokugakuin.ac.jp/>

